

観光施設（黒滝森物語村）電気設備改修工事 設計図

図 面 リ ス ト					
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
A－ 0	表 紙 ・ 図面リスト	――	E－ 1	電気設備工事特記仕様書（１）	――
A－ 1	建築改修工事特記仕様書（１）	――	E－ 2	電気設備工事特記仕様書（２）	――
A－ 2	建築改修工事特記仕様書（２）		E－ 3	電気設備工事特記仕様書（３）	――
A－ 3	配置図・仮設計画図	1／300	E－ 4	受変電設備 単結線図 （新設）	――
A－ 4	外 構 図（現 況）	1／200	E－ 5	受変電設備 低圧配電盤リスト・姿図 （新設）	――
A－ 5	外 構 図（改 修）	1／200	E－ 6	電気設備 配置図 （改修）	1／300
A－ 6	外構詳細図（現況）	1/10・1/50	E－ 7	電気設備配置図(2) （改修）	1／100
A－ 7	外構詳細図-1（改修）	1/10・1/30・1/100	E－ 8	幹線設備図 （改修）	1／50
A－ 8	外構詳細図-2（改修）	1/20・1/30・1/100	E－ 9	電気設備配置図(4) （改修・撤去）	1／50
			E－ 1 0	第１・４キュービクル 単結線図 （撤去）	――
			E－ 1 1	第１・４キュービクル 低圧配電盤リスト・姿図 （撤去）	――
			E－ 1 2	第２・３キュービクル 単結線図・姿図（存置・撤去）	――
			E－ 1 3	電気設備 配置図 （撤去）	1／300
			E－ 1 4	幹線設備図 （撤去）	1／50

8

環境配慮改修工事

石綿処理

①

一般事項

建築設備に使用されている石綿含有材の処理
・行う ○行わない
除去後の仕上げ工事
・図示（図面番号）
石綿粉じん濃度測定
・行う 測定対象工事（ ） ○行わない
測定時期
処理作業前
・処理作業室内
・施工区画周辺又は敷地境界
処理作業中
・処理作業室内
・セキュリティゾーン入口
・集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）
・施工区画周辺又は敷地境界
処理作業後
・処理作業室内
（隔離シート撤去前）
・施工区画周辺又は敷地境界
合 計
・測定方法 ※位相差顕微鏡法

②

石綿作業主任者

※適用する

③

特別管理産業廃棄物管理責任者

※適用する

④

表示及び掲示

※事前調査結果、作業内容を公衆及び労働者に見やすい場所に掲示すること（石綿含有仕上塗材除去に関して、労働基準監督署及び奈良県観環境総合センター（奈良市においては奈良市保健・環境検査課）への届出は不要）

5

石綿含有吹付け材の除去

※負圧隔離養生を行う
除去工法
※除去工法（（一財）日本建築センター（BCJ）の審査証明（写）添付）
※除去工法（（一財）日本建築総合試験所（GBRC）同等の建築技術性能証明書（写）添付）
・封じ込め処理（ ）
・囲い込み処理（ ）
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・固形化
保管場所（ ）
除去した石綿含有吹付け材の処分
・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

6

石綿含有保温材等の除去

除去工法
・手ばらし（養生シート等を用いて隔離養生（負圧不要）を行う）
・切断又は粉碎して除去（負圧隔離養生を行う）
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・固形化
保管場所（ ）
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

7

石綿含有成形板等の除去

除去工法
※湿潤化のうえ原形のまま、手ばらし
・切断、粉碎等（養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う）
・（ ）
保管場所（ 仮設ヤード内に仮置き ）
除去した石綿含有成形板の処分
※石綿含有せっこうボードは管理型最終処分場で埋立処分する
・上記以外（・埋立処分 ・中間処理）

8

石綿含有仕上塗材の除去

除去工法
※建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散防止徹底マニュアル（令和3年3月版）による工法の作業手順に従い、施工すること。
※隔離養生 ・（ ）
※湿潤化 ・（ ）
・高圧水洗や剥離剤を用いる。
・電動工具を用いて除去作業を行う。
（養生シート等で作業場所の隔離養生（負圧不要）を行う）
除去した石綿含有仕上塗材の固形化
・行う ・行わない
汚泥として処理が必要な場合 ・（ ）
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分 ・中間処理

⑨

石綿含有材の箇所

※仕上表及び図面の建材表示の前に▲を付したものの
※石綿含有の有無は、目視及び設計図書等によるものである。

9

特別管理産業廃棄物の処理

1 一般事項

分析調査
微量PCB（ ） ・行う ・行わない
PCB含有シーリング（防水・建具廻り） ・行う ・行わない
部材ごとに採取（3ヶ所×2棟＝6検体）
ダイオキシン類のサンプリング調査
・行う（適用範囲） ・行わない

2 特別管理産業廃棄物の処分等

特別管理産業廃棄物
種類
・廃石綿等
・PCBを含む機器類
・PCB含有シーリング材
・廃油
・廃酸／廃アルカリ
・ダイオキシン類
処分（処理）方法
改修工事標準仕様書9章1節「石綿含有建材の除去工事」による。
保管（保管場所： ）
保管容器は別図による（図面番号： ）
保管（保管場所： ）
・焼却処分
・中間処理施設再生処理
製造業者又は専門業者（回収委託）
・中和処理
・焼却処分
・中間処理施設再生処理
解体方法（ ）
処分方法（ ）

10

特殊な建設副産物の処理

1 施工計画調査

分析調査
・行う ・行わない
※調査結果を書面で監督員に報告する。

2 特殊な建設副産物の回収及び処分

種類
・フロン
・ハロン
・イオン化式感知器
・六ふっ化硫黄(SF₆)ガス
・P F O S
・特定化学物質
・特別管理産業廃棄物等
リスト
処分（処理方法）
※登録回収業者（回収委託）
※設備設置業者（処理委託）
※製造業者等（処理委託）
※製造業者（処理委託）
※処理業者（処理委託）
※処理業者（処理委託）
別図による（図面番号 ）

材料評価名簿

* 建築材料表（以下のものは、評価名簿による）

種類	標準仕様書
・床型枠用鋼製デッキプレート（フラットデッキ）	(6.8)
・鉄骨柱下無収縮モルタル	(7.2)
・無収縮グラウト材（・プレミックス形／・現場調合形）	[8.2]
・押出成形セメント板	(8.5)
・成形伸縮目地材	(9.2)
・乾式保護材（防水立上り部）	(9.2)
・セラミックタイル （・AⅡ（押出成形Ⅱ類）、・BⅠ（プレス成形Ⅰ類）、・BⅡ（プレス成形Ⅱ類）、・BⅢ（プレス成形Ⅲ類））	(11.2・3・4)
・既調合モルタル（タイル工用）	(11.2)
・既調合目地材	(11.2)
・ルーフトレン	(13.5)
・吸水調整材（モルタル用）	(15.3)
・防水剤	(15.3)
・アルミニウム製建具（・A種、・B種、・C種）	(16.2)
・樹脂製建具（B種）	(16.3)
・鋼製建具	(16.4)
・鋼製軽量建具	(16.5)
・ステンレス製建具	(16.6)
・錠前類 （シリンダー箱錠（・シリンダー箱錠／・レバーハンドル） ・シリンダー本締り錠）	(16.8)
・クローザー類 （ドアクローザー（・Grade1／・Grade2）、・ヒンジクローザー、フロアヒンジ（・Grade1／・Grade2））	(16.8)
・自動扉機構（・駆動装置、・検出装置、・多機能トイレ用駆動装置）	(16.9)
・自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）	(16.10)
・重量シャッター	(16.11)
・軽量シャッター	(16.12)
・オーバーヘッドドア	(16.13)
・ガラス （・フロート板ガラス、・型板ガラス、・網入板ガラス及び線入板ガラス、・熱線吸収板ガラス、 ・倍強度ガラス、・熱線反射ガラス）	(16.14)
・現場発泡断熱材	(19.9)
・フリーアークセスフロア（・3000N／・5000N）	(20.2)
・可動間仕切	(20.2)
・移動間仕切（スライディングドア）	(20.2)
・トイレブース	(20.2)
・煙突用成形ライニング材	(20.2)
・天井点検口	
・床点検口	
・グレーチング	(21.2)
・屋上緑化システム（板状成形品タイプ）	(23.5) [9.6]
・屋上緑化軽量システム	(23.5) [9.6]
・トップライト	
・ポリマーセメントモルタル	[4.2]
・錆鉄製ふた（マンホールふた 弁棚ふた）	
・	
・	
・	

（ ）は公共建築工事標準仕様書、[]は公共建築改修工事標準仕様書の章節番号を示す

* 建築材料等参考表（材料評価名簿材料を除く）

建築材料	製造者名、型名

観光施設（黒滝森物語村）電気設備改修工事 設計図

建築改修工事特記仕様書（2）

DRAWN BY

CHCKED BY

SCALE

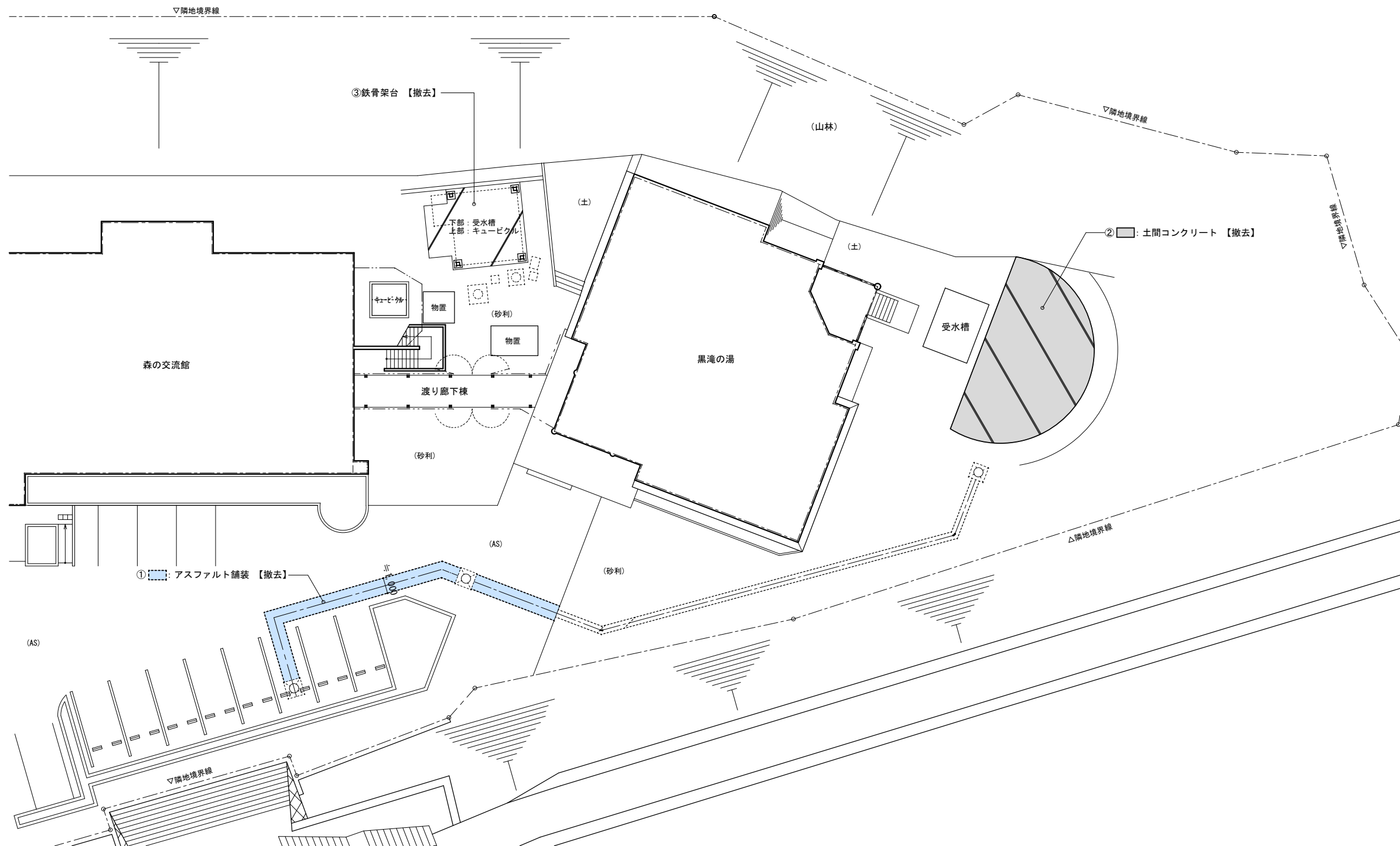
DATE

R7・01

株式会社 たかの建築事務所

DRAWING NO
A - 2
一級建築士 NO 345344
柿谷正英

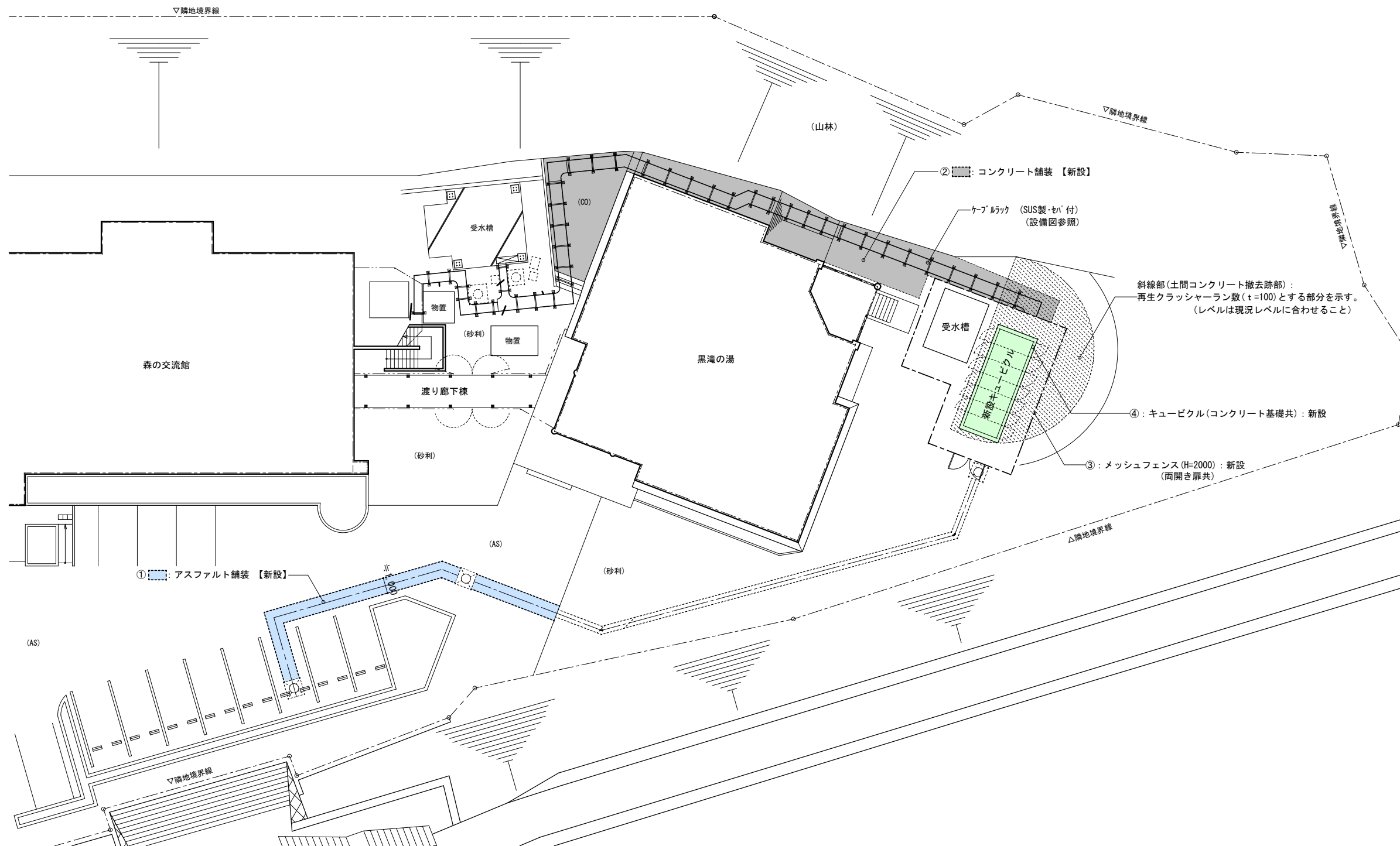
A2 - R4年度 ver1.0



外構図(現況) S=1/200

※①～③:番号は外構詳細図(現況)参照
※設備機器は設備図参照
※撤去・改修範囲・設備機器設置位置等は現場にて再確認し、監督職員の立会の元決定すること。

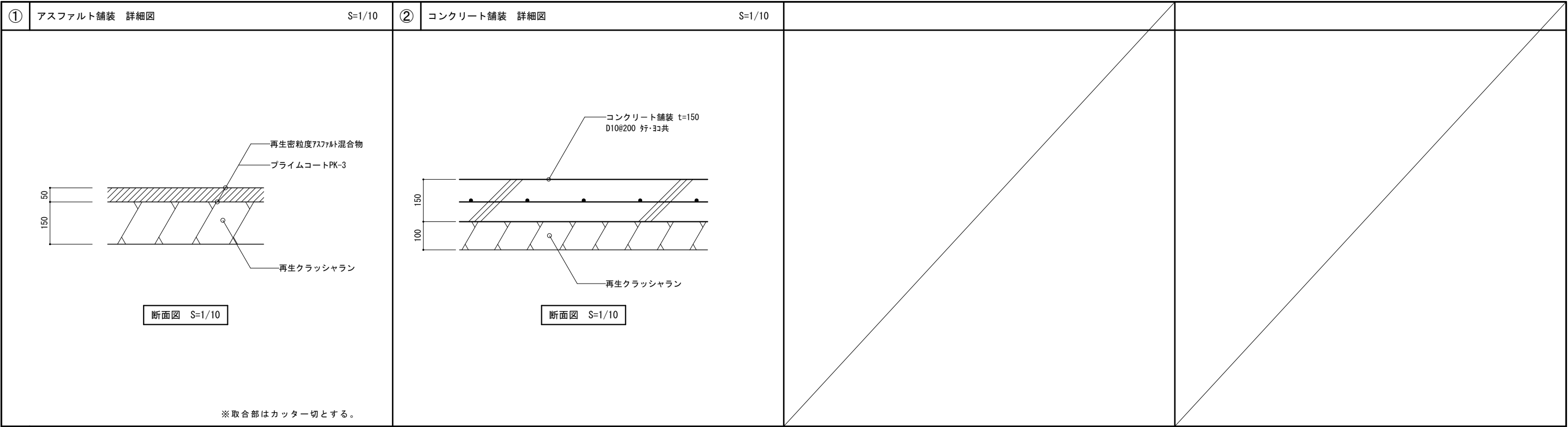
株式会社 たかの建築事務所	観光施設(黒滝森物語村)電気設備改修工事 設計図	DRAWN BY	CHECKED BY	DRAWING NO
	外構図(現況)	SCALE	DATE	A-04
		1/200	R7.01	一級建築士NO 345344 柿谷正英



外構図 (改修) S=1/200

※①～④: 番号は外構詳細図 (改修) 参照
※設備機器は設備図参照
※撤去・改修範囲・設備機器設置位置等は現場にて再確認し、監督職員の立会の元決定すること。

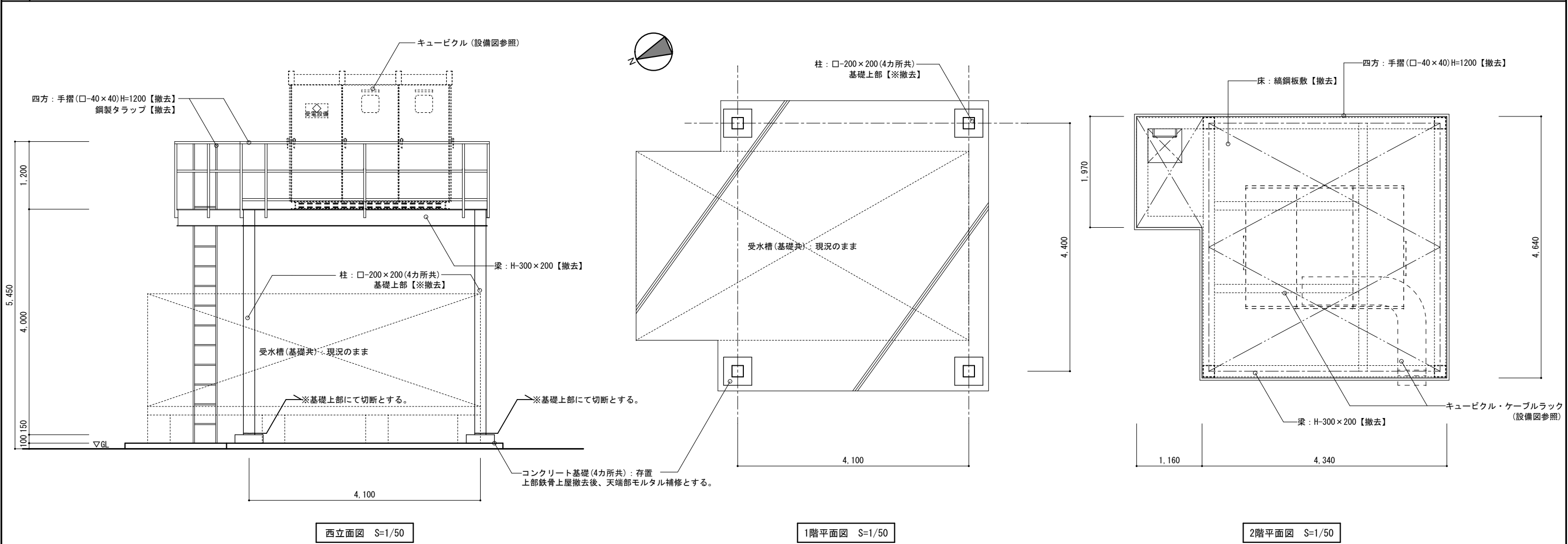
株式会社 たかの建築事務所	観光施設 (黒滝森物語村) 電気設備改修工事 設計図	DRAWN BY	CHECKED BY	DRAWING NO
	外構図 (改修)	SCALE	DATE	A-05
		1/200	R7.01	一級建築士 NO. 345344 柿谷正英



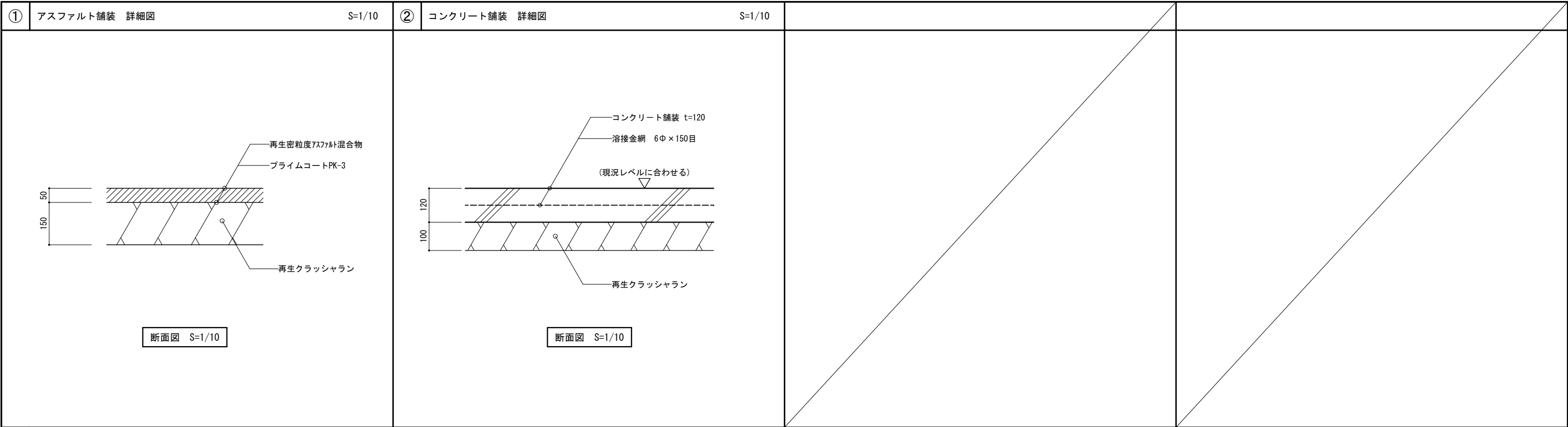
③

設備基礎 詳細図

S=1/50



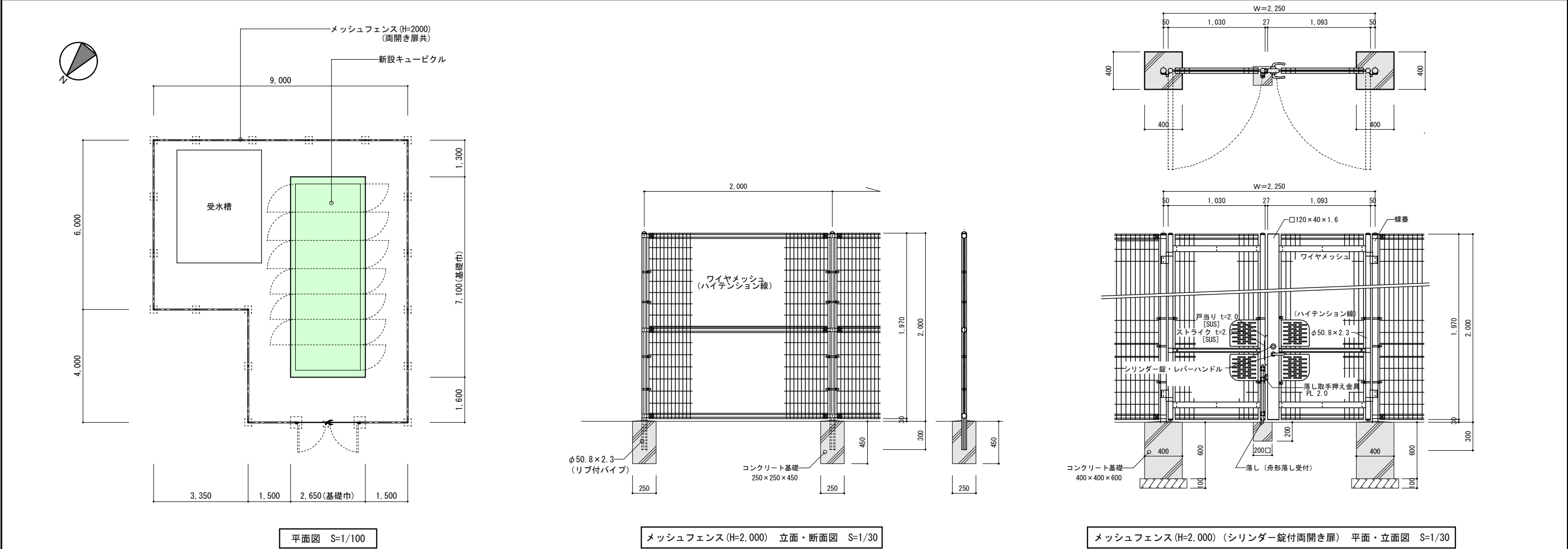
株式会社 たかの建築事務所	観光施設(黒滝森物語村)電気設備改修工事 設計図	DRAWN BY	CHECKED BY	DRAWING NO
	外構詳細図 (現況)	SCALE	DATE	A-06
		1/10・1/50	R7・01	一級建築士 NO 345344 柿谷正英



③

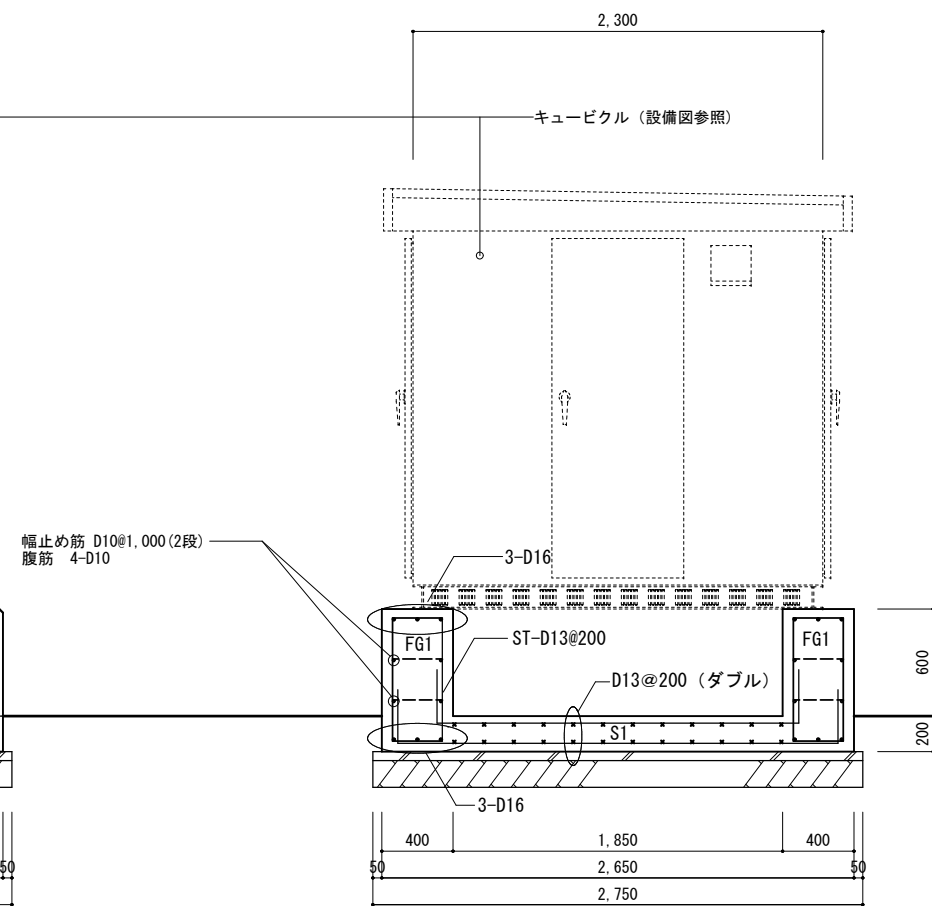
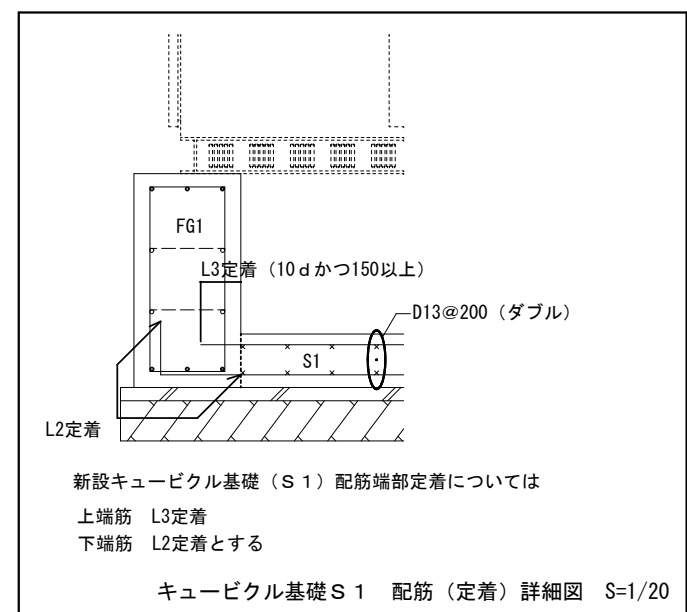
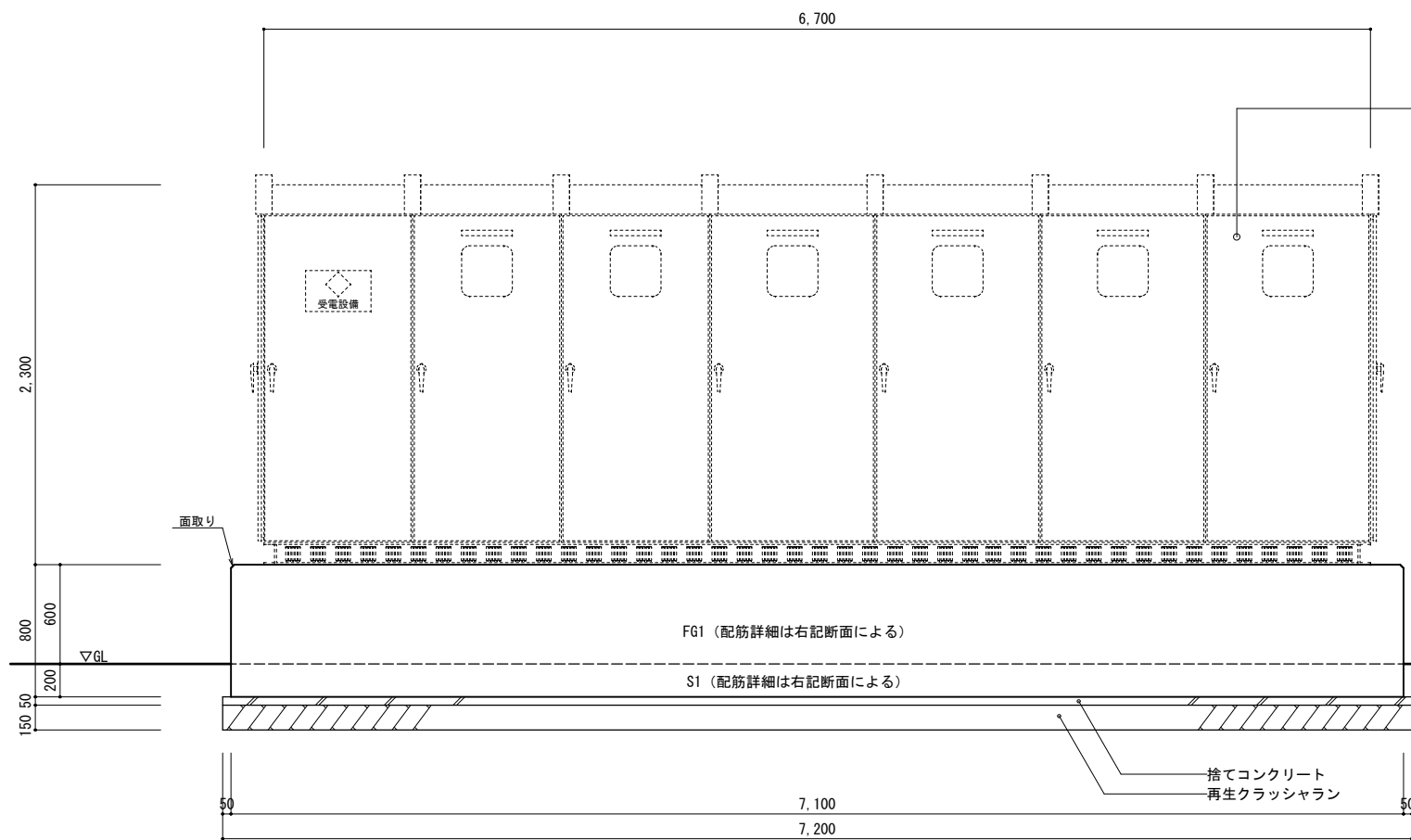
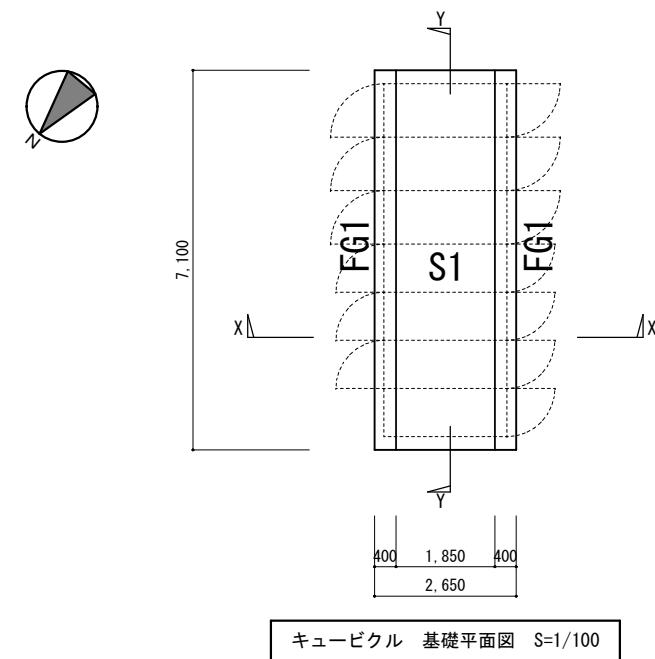
メッシュフェンス 詳細図

S=1/30・1/100



※ フェンスは、見本を提出し、監督職員の承諾を得ること。(※ 開き戸の位置等は、割付平面図を作成し監督職員の承認を得ること。)

(UNフェンスA型 朝日スチール工業㈱又は、同等品以上とする。)



FG1 (400 x 800)
上端筋 3-D16 下端筋 3-D16
ST D13@200
幅止め筋 D10@200 (2段) 腹筋 4-D10

S1 厚200 D13 @200 (ダブル)
コンクリート強度 FC21-18-20 (共通)

※ S1スラブ上に水抜きパイプ 25φ (6カ所) を設置する。

株式会社 たかの建築事務所

観光施設(黒滝森物語村)電気設備改修工事 設計図

外構詳細図-2 (改修)

DRAWN BY	CHECKED BY	DRAWING NO
SCALE	DATE	A-08
1/20・1/30・1/100	R7・01	一級建築士 NO 345344 柿谷正英

令和4年版

Ver.1.0

観光施設(黒滝森物語村)電気設備改修工事 設計図

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

奈良県 奈良県吉野郡黒滝村栗谷谷地内

2. 建物概要

建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備 考
森の交流館	木造	2				

3. 工事種目

●印をつけたものを適用し、各一式とする。

工事項目／棟別及び屋外	森の交流館				屋外
電 灯 設 備	○	○	○	○	○
動 力 設 備	○	○	○	○	○
電 熱 設 備	○	○	○	○	○
雷 護 設 備	○	○	○	○	○
受 変 電 設 備	●	○	○	○	○
電力貯蔵設備	○	○	○	○	○
発 電 設 備	○	○	○	○	○
構内情報通信網設備	○	○	○	○	○
構内交換設備	○	○	○	○	○
情報表示設備	○	○	○	○	○
映像・音響設備	○	○	○	○	○
拡声設備	○	○	○	○	○
誘導支援設備	○	○	○	○	○
テレビ共同受信設備	○	○	○	○	○
監視カメラ設備	○	○	○	○	○
駐車場管制設備	○	○	○	○	○
防犯・入退室管理設備	○	○	○	○	○
火災報知設備	○	○	○	○	○
中央監視制御設備	○	○	○	○	○
医療関係設備	○	○	○	○	○
構内配電線路	●	○	○	○	○
構内通信線路	○	○	○	○	○
テレビ電波障害防除設備	○	○	○	○	○
撤去工事	●	○	○	○	○
環境配慮改修工事	○	○	○	○	○
建築工事	○	○	○	○	○
機械設備工事	○	○	○	○	○

II. 電気設備工事仕様

1. 共通仕様

1)

本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書等による。

- 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「建築改修標準仕様書」という。)
- 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
- 建築物解体工事共通仕様書・同解説(令和4年版)(以下「解体共通仕様書」という。)

2)

工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合は、その仕様は当該図面による。

2. 特記仕様

1)

項目及び特記事項は、※印または●印を適用とし、●印を優先とする。

2)

特記事項に記載の() 内表示番号、< >内表示番号、【 】内表示番号及び[] 内表示番号について、それぞれ標準仕様書、改修標準仕様書、建築改修標準仕様書及び解体工事共通仕様書の編・章・節・項を示す。

3. 電気工作物の種類

●印を適用とする。

- 契約電力500kW未満の自家用電気工作物
- 契約電力500kW以上の自家用電気工作物
- 一般用電気工作物
- 電気事業用電気工作物

章	項 目	特 記 事 項
一般	●適用基準等	県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携 奈良県県土マネジメント部 建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集 奈良県県土マネジメント部 (1.1.2.4)<1.1.2.4>
	●設計図書の優先順位	(1) 質問回答書(以下(2)から(5)に対するもの) (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書・改修標準仕様書 以上(1)から(5)の順番のとおりとする。 ただし、明示なき材料、仕上げ等については、監督職員の指示による。 (1.1.1.1)<1.1.1.1>
	●官公署その他の届出手続等	工事関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等は全て受注者が行うこと。 この場合、「建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集(奈良県県土マネジメント部)」の書式に従い、日程管理を行う。 (1.1.1.3)<1.1.1.3>
	●工事実績情報の登録	※行う(適用する) ○行わない (1.1.1.4)<1.1.1.4>
	●情報通信の技術の利用	書面により行う(補完的に電子メール等を活用できる)。 (1.1.1.5)<1.1.1.5>
事	○他工事との取合い	別記工事区分表による。 (1.1.1.7)<1.1.1.7>
	●疑義に対する協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり取り合い等の関係で設計図書によることが困難若しくは不都合な場合が生じた時は、監督職員と協議する。
	●概成工期	現場説明書による。 (1.1.2.1)<1.1.2.1>
項	●実施工程表	工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。 実施工程表を変更する必要がある場合は、施工に支障が無いよう実施工程表を直ちに変更し、当該部分の施工に先立ち、監督職員の承諾を受ける。 (1.1.2.1)<1.1.2.1>

●施工計画書

(1) 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書(総合施工計画書)を作成し、監督職員に提出する。
(2) 品質計画、施工の具体的な計画並びに一工程の施工の確認内容及びその確認を行う段階を定めた施工計画書(工種別施工計画書)を、工事の施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。
(3) (1)、(2)の施工計画書のうち、品質計画に係る部分については、監督職員の承諾を受ける。また、品質計画に係る部分について変更が生じる場合は、監督職員の承諾を受ける。
(1.1.2.2)<1.1.2.2>

●電気保安技術者

標準仕様書又は改修標準仕様書に規定する電気保安技術者をおくものとする。
電気保安技術者は、(事業用電気工作物に係る工事の場合、電気事業法に基づく電気主任技術者の業務を補佐すると共に)、監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。
(1.1.3.2)<1.1.3.2>

●工用電力設備の保安責任者

工用電力設備の保安責任者として、法令に基づく有資格者を定め監督職員に報告する。
保安責任者は適切な保安業務を行うものとする。
【1.1.3.4】

●電気工事士

契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
(1.1.3.3)<1.1.3.3>

●施工条件

現場説明時の現場説明事項による。
(1.1.3.3)<1.1.3.3>

●施工中の安全確保

工事現場周辺の状況を調査判断し、本工事施工によって生じる騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。工事に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、受注者の責任において直ちに誠意をもって対応する。
(1.1.3.5)<1.1.3.5>

●交通安全管理

工事期間中道路面には、一切車両を駐車しないようにすると共に、工事関係車両の出入りについては、必ず誘導員又は交通整理員を立て、交通渋滞、住民等の安全に留意すること。また、工事着手前に警察、その他関係機関、地元自治会、監督職員などと十分打ち合わせのうえ、安全管理を行う。
(1.1.3.6)<1.1.3.7>

●災害等発生時の安全確保

災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努め、その経緯を監督職員に報告する。
(1.1.3.7)<1.1.3.8>

●施工中の環境保全等

関係法令に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。塗料、その他の化学製品の取扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成したJIS Z 7253による安全データシートを常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。建設事業及び建設業のイメージアップのために、作業環境の改善、作業現場の美化等に努める。
(1.1.3.8)<1.1.3.9>

●図面照査

設計図書の照査及び現場調査を行い、報告すること。

●施工調査

(1) 工事の着手に先立ち、施工調査を行い、報告書を提出すること。施工調査の内容は次による。
調査項目：改修対象建物及び同建物内設備配管・配線等・屋外埋設配管等埋設物
調査範囲：本工事と取り合いのある範囲及び本工事の施工により影響が及ぶ範囲
調査方法：スケール・レベル・目視による他、監督職員との協議による
(2) 次の関係者と当該工事に必要な事前打合せを行う。

- 施設管理者 ●当該施設の電気主任技術者 ○関係官公署(建築主事、消防署等)
- 電気事業者 ○通信事業者 ○()

<1.1.5.1><1.1.5.3>

●地中埋設物等

標準仕様書又は改修標準仕様書によるほか、下記による。
<1.1.9.1>
施工前に、当該工事にかかわる地中埋設物等(建物内又は既設コンクリート内の既設配管・配線を含む)について事前調査を行い、報告書を提出すること。既設構造物の位置及び既設埋設配管の経路等が不明な場合は、探査方法及び試験掘り方法を監督職員と協議する。

●発生材の処理等

●再資源化を図るもの

- コンクリート塊 ●アスファルトコンクリート塊 ○コンクリート二次製品
- 建設発生木材 ○蛍光灯 ○HIDランプ ○小型二次電池 ○()
- 再資源利用〔促進〕計画(実施)書を提出する。
(建設副産物対策近畿地方連絡協議会編)

●産業廃棄物の処理
関係法令に従い、構外搬出適切処理とし搬出書類等提出する。なお、県内の最終処分場に搬入することとなる場合は、奈良県産業廃棄物税条例相当額を支払うこと。
●産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写しを提出する。
○引き渡しを要するもの()
○現場において再利用を図るもの()
(1.1.3.9)<1.1.9.1>

●機材の品質等

以下(設備機材)に掲げる設備機材は、(一社)公共建築協会発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」に記載されたもの(ただし、評価の有効期限内のものに限る)を使用する。この場合、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料(製作図、試験成績書等は除く)に替える。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
(1.1.4.2)<1.1.4.2>

設備機材

LED照明器具(一般屋内用に限る。)、照明制御装置

サージ防護デバイス(低圧用SPD)

可変速運転用インバータ装置

盤類(分電盤(0A盤及び実験盤を含む)、制御盤、キュービクル式配電盤、
高圧スイッチギヤ(CW形)、高圧スイッチギヤ(PW形))

高圧機器(高圧交流遮断器、高圧進相コンデンサ、高圧限流ヒューズ、高圧負荷開閉器、
高圧変圧器(特定機器)、高圧避雷器)

絶縁監視装置(高圧回路の絶縁監視装置、低圧回路の絶縁監視装置)

蓄電池(バント形据置鉛蓄電池、制御弁式据置鉛蓄電池、
据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池、
シール形ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池)

交流無停電電源装置、太陽光発電装置(パワーコンディショナ及び系統連系保護装置)

監視カメラ装置、中央監視制御装置

○再使用機材

取外し後再使用する機材は別図による。(図面番号)
取外した上再使用する電灯・動力設備機器は清掃し、絶縁抵抗測定のうち取付ける。
なお照明器具等の見えがかり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃を行うこと。
機材の分解・整備等による特別な清掃 ※行わない ○行う(図面番号)

○県産材木材の利用

県産材木材(奈良県内において伐採・生産された原木を製材加工した製品)の利用に努めること。

○建築物省エネ法対象機器

本工事は、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(平成27年法律第53条)第13条第2項に規定する建築物エネルギー消費性能確保計画の通知を行っている。
通知の詳細は監督職員に確認すること。
対象設備 ○照明設備 ○太陽光発電設備
機器の消費電力、燃料消費量は、原則として表示された数値以下とする。

●機材の検査に伴う試験

機材の品質及び性能を試験により証明する場合は、試験に先立ち試験計画書を作成のうえ、監督職員に提出し、原則として監督職員の立ち会いを受けて行う。
ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
(1.1.4.5)<1.1.4.6>

●色彩による表示、標識その他

監督職員の指示による。
(1.1.4.2)(1.1.7.4)<1.1.4.2><1.1.8.5>

○見本施工の実施

図示による。(図面番号)
(1.1.5.3)<1.1.6.4>

○化学物質の濃度測定

実施する(※施工完了後 ○着工前・施工完了後)
(1.1.5.7)<1.1.6.8>
測定対象化学物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
測定対象室及び測定箇所数
室 名
箇所数
測定方法は監督職員の指示による。

○化学物質を放散させる建築材料等の使用制限

本工事の建築内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。
(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗装、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しない又は放散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
(2)接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
(3)接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
(4)(1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。
規制対象外
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認可を受けた材料
第三種
①建築基準法第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認可を受けた材料

●中間技術検査の実施

県土マネジメント部の監督及び検査の実施に関する取り扱い要領により中間技術検査を行う。
(1.1.6.2)<1.1.10.2>

●完成時の提出図書

次の図書を提出する(機器製作図含む)。
(1.1.7.1)<1.1.11.1>
●完成図
(1)設計図に基づき全ての図面を完成図として作成する。
その場合は施工図を完成図に添付するものとする。
製本サイズ(○A1 ●A2 ○A3) 提出部数(2)部
(2)原則として黒文字製本とし、表紙の書き方は監督職員の指示とする。
(3)完成図CADデータを提出する。参考CADデータの貸与 ●あり ○なし
●保全に関する資料等(※1部 ○「 」部)
建築物等の利用に関する説明書、機器取扱い説明書、機器性能試験成績書、官公署届出書類、主要機器一覧表、総合調整測定表、連絡先、保証書、資格一覧表)を提出する。
●その他の引き渡し書類
保証書、施工図(制御システム図・機器配管固定の施工図等)、施工計画書、各種承諾図、工事写真、その他各種検査書類等を整理し、監督職員の指示する部数を提出する。
○既存完成図の修正(多年度継続工事の場合)
既存完成図を今回工事の内容を含んだものに修正し、全体完成図として提出する。

●工事写真・完成写真

●工事写真 「工事写真の撮影要領(建築工事・設備工事)(奈良県県土マネジメント部)」による。
●完成写真 ※工事写真に準じて作成する。 ○下表による。
(1.1.2.4)<1.1.2.4>
分類・規格 撮影枚数 部数 原板の大きさ(mm)
○カラーサービス版 ○0 ●3 ○6
○カラーキャビン版 監督職員指示箇所
(ただし、上記写真は、アルバム製本とする。)
●完成写真として、全紙パネルを 部提出する。

株式会社 たかの建築事務所

観光施設(黒滝森物語村)電気設備改修工事 設計図

電気設備工事特記仕様書 (1)

DRAWN BY

CHECKED BY

DRAWING NO

E-01

SCALE

DATE

一級建築士NO 345344

A2 NON

R5・09

柿 谷 正 英

令和4年版Ver. 1.0

構内通信線路

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設 ○取り外し再取り付け

構内交換設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設 ○取り外し再取り付け
○既設現状のまま

情報表示装置

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

○マルチサイン

別図による（図面番号）

○出退表示設備

別図による（図面番号）

○時刻表示装置

親時計は、時刻補正機能を有するものとし、時刻補正の方式は、別図による（図面番号）

○時刻同期装置

時刻補正機能を有するものとし、時刻補正の方式は、別図による（図面番号）

○太陽光電池式
ポール形屋外時計

点灯時間及び不日照時の点灯保証日数は、別図による（図面番号）
時刻補正の方式は、別図による（図面番号）

映像監視装置

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

○機器仕様

別図による（図面番号）

拡声設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け ○既設撤去

○機器仕様

別図による（図面番号）

○工事種類

○非常放送設備 ○一般放送設備

○放送設備の兼用

非常放送設備を一般放送設備と兼用する。

○通信用SPD

○設置する（カテゴリOC2 OD1） ○設置しない

誘導支援設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

○音声誘導装置

別図による（図面番号）

○インターホン

別図による（図面番号）

○トイレ等呼出装置

別図による（図面番号）

○受付呼出装置

別図による（図面番号）

テレビ共同受信設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

○UHFアンテナ

※UHF（全帯域用） ○UHF（帯域用）

○BS-CSアンテナ

○BS・110°CS ○CS

○通信用SPD

○設置する（カテゴリOC2 OD1） ○設置しない

○アンテナマスト

取付方法 ○壁面取付形 ○自立形
材質 ※溶融亜鉛めっき ○ステンレス

○受信調査

アンテナ取付け予定位置及びその周辺で端子電圧、振幅周波数特性、等価C/N値、ビット誤り率、受信画質を測定及び調査する。
（測定チャンネルは別図による（図面番号））
その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。

テレビ電波除害設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

○屋外形機器収納箱

○合成樹脂製 ○アルミダイキャスト製 ○鋳鉄製 ○鋼板製

○事前調査

調査箇所数 箇所
建物建築前に路上で端子電圧、振幅周波数特性、等価C/N値、ビット誤り率、受信画質を測定及び調査する。
（調査チャンネルは別図による（図面番号））

監視カメラ

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

○機器仕様

別図による（図面番号）

○通信用SPD

○設置する（カテゴリOC2 OD1） ○設置しない

駐管車庫設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

○機器仕様

別図による（図面番号）

防犯監視設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ●取り外し再取り付け

○防犯設備

別図による（図面番号）

○入退室管理制御装置

別図による（図面番号）

火災報知設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け
○既設現状のまま

○自動火災報知設備

別図による（図面番号）

○地区警報装置

別図による（図面番号）

○自動閉鎖設備

別図による（図面番号）

○非常警報装置

別図による（図面番号）

○ガス漏れ火災警報設備

別図による（図面番号）

設備

○通信用SPD

○設置する（カテゴリOC2 OD1） ○設置しない

○R型及び自動試験機能付きのP型受信機

○感知器等の増設や変更に伴う設定は別図による（図面番号）

中央監視制御設備

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

○警報盤

別図による（図面番号）

○簡易型監視制御装置

別図による（図面番号）

○監視制御装置

別図による（図面番号）

○通信用SPD

○設置する（カテゴリOC2 OD1） ○設置しない

構内配電線路

●工事範囲

●配管 ●配線 ●機器取り付け ○機器移設・改設 ○取り外し再取り付け

●ふ設方法

●地中埋設式 ●架空線式
埋設深さ 図面に記載なき場合は、6L（舗装がある場合は、舗装下面）
-600mm以下とする。

構内通信線路

○工事範囲

○配管 ●配線 ○機器取付 ○機器移設 取り外し再取付

○ふ設方法

○地中埋設式 ○架空線式
埋設深さ 図面に記載なき場合は、6L（舗装がある場合は、舗装下面）
-600mm以下とする。

○マンホール及び

構造、寸法は ※標準図による。 ○別図による。（図面番号）

○ハンドホール

蓋の用途表示は ○奈良県通信 ○ とする。

環境配慮

○石綿作業主任者

適用する [9.1.2]

○特別管理産業廃棄物管理責任者

●施工計画調査

特別管理産業廃棄物等の調査は次による（適用範囲：）
使用状況調査（製造所名、製造年、型式、種類、数量等）
処分条件調査（収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設等）
調査結果報告書の提出 [5.1.2]

●分析調査

微量PCBの測定を行う。（対象機器：） [5.4.1]

●特別管理産業廃棄物の処理等

●特別管理産業廃棄物 [5.4.1]

種類	処理方法
○廃石綿等	石綿含有建材の除去等による
●PCBを含む機器類	保管（保管場所： 監督員の指示による ） 保管容器は別図による。（図面番号）
○PCB含有シーリング	保管（保管場所：）
●廃油	●中間処理施設再生処理 ○焼却処分
○廃酸／廃アルカリ	製造業者又は専門業者（回収委託） ○中間処理施設再生処理 ○中和処理 ○焼却処分

○特殊な建設副産物の回収及び処理 [7.3.1]

種類	処理等
○フロン類	登録回収業者（回収委託）
○ハロン	設備設置業者等（処理委託）
○イオン化式感知器	製造業者等（処理委託）
○六フッ化硫黄（SF6）ガス	製造業者（処理委託）
○特定化学物質	処理業者（処理委託）

○特別管理産業廃棄物等リスト

別図による。（図面番号 E-12

工事

○石綿含有建材の調査

施工調査（石綿含有建材の有無）は監督員、工事監督者、受注者立会のもと行う。
目視及び設計図書等による製造年等の確認 [1.5.1]

○石綿含有建材の分析調査

分析方法
○JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有測定方法」による
※「建材中の石綿含有率の分析方法」（平成18年8月21日基発第0821002号、基安化発第0821001号及び平成20年2月6日基安化発第0206003号）による。
分析結果報告書を提出する。 [1.5.1]

○石綿含有保温材等の除去及び処分

除去工法 [9.1.3] [9.1.4]
○手ばらし ○破碎して除去
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※湿潤化 ○固形化
保管場所（）
除去した石綿含有保温材等の処分
○埋立処分（管理型最終処分場） ○中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

環境配慮

○石綿含有成形板等の除去及び処分

※湿潤化
除去工法
※手ばらし
※けい酸カルシウム板第一種においては、作業場の隔離養生を行う。
保管場所（）
除去した石綿含有成形板等の処分（石綿含有せっこうボードを除く）
○埋立処分 ○中間処理

○手続き等

所轄の労働基準監督署及び奈良県景観・環境総合センター（奈良市内においては奈良市保健・環境検査課）に必要な書類の届出を行うこと。また、その内容を周辺住民の見やすい場所に掲示すること。 [1.1.3] [9.1.2]

○除去後の仕上げ

仕上げ表による。（図面番号） [9.1.1]

○石綿含有建材リスト

○（） ○（）
○（） ○（）

機器取付高さ

※取付高さは標準であり、監督職員の承諾を受けて変更してもよい。

	名称	測点	取付高(mm)	
電灯動力共通	引込用計器	地上～窓中心	1, 800～2, 000	
	引込開閉器	地上～中心	1, 800～2, 200	
電灯	分電盤	床上～中心	1, 500	
	スイッチ（一般）	床上～中心	1, 300	
	スイッチ（多機能トイレ）	床上～中心	1, 100	
	スイッチ（自動扉用）	床上～中心	1, 700	
	コンセント（一般）	床上～中心	300	
	コンセント（和室）	床上～中心	150	
	コンセント（台上）	台上～中心	150～300	
	コンセント（車椅子用）	床上～中心	900	
	コンセント（機械室・車庫）	床上～中心	800～1, 300	
	ブラケット（一般）	床上～中心	2, 100～2, 300	
	ブラケット（踊場）	床上～中心	2, 000～2, 500	
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～下端	50	
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1, 500	
	手元開閉器	床上～中心	1, 500	
構内情報通信網	操作スイッチ	床上～中心	1, 300	
	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	300	
構内交換	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	150	
	端子盤（室内）	床上～下端	300	
情報表示	集合保安器箱	天井下～上端	200	
	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	1, 300	
	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	150	
	掛電話機	床上～中心	1, 300	
	表示盤	床上～中心	2, 300	
	壁付発信機	床上～中心	1, 300	
	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2, 300	
	壁掛形親時計	床上～中心	1, 500	
	子時計	床上～中心	2, 300	
	拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心	2, 300
	誘導支援	壁付アッテネータ	床上～中心	1, 300
		テレビインターホン（親機）	床上～下端	1, 300
テレビインターホン（子機）		床上～呼出釦	1, 300	
外部受付用インターホン（親機）		床上～下端	1, 300	
外部受付用インターホン（子機）		床上～中心	1, 000	
外部受付用インターホン（呼出ボタン）		床上～中心	600以下	
壁付押しボタン（ひも付）		便器座面～中心	400～550	
（トイレ等呼出）		床上～中心	400	
壁付握りボタン（トイレ等呼出）		床上～中心	1, 100以下	
壁付呼出表示灯（トイレ等呼出）		床上～中心	（天井高）×0.9	
壁付復帰ボタン（トイレ等呼出）		床上～中心	1, 300	
壁付インターホン（一般）		床上～中心	1, 300	
テレビ共同受信	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	1, 300	
	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	150	
火災報知	機器収容箱	天井下～上端	200	
	直列ユニット（一般）	床上～中心	300	
	直列ユニット（和室）	床上～中心	150	
	受信機・副受信機	床上～中心	800～1, 500	
	機器収容箱	床上～中心	800～1, 500	
	発信機	床上～中心	800～1, 500	
	ベル	床上～中心	2, 300	
表示灯	床上～中心	2, 100		
	液化石油ガス用検知器	床上～上端	300	

株式会社 たかの建築事務所

観光施設（黒滝森物語村）電気設備改修工事 設計図

電気設備工事特記仕様書（3）

DRAWN BY

CHECKED BY

DRAWING NO

E-03

SCALE

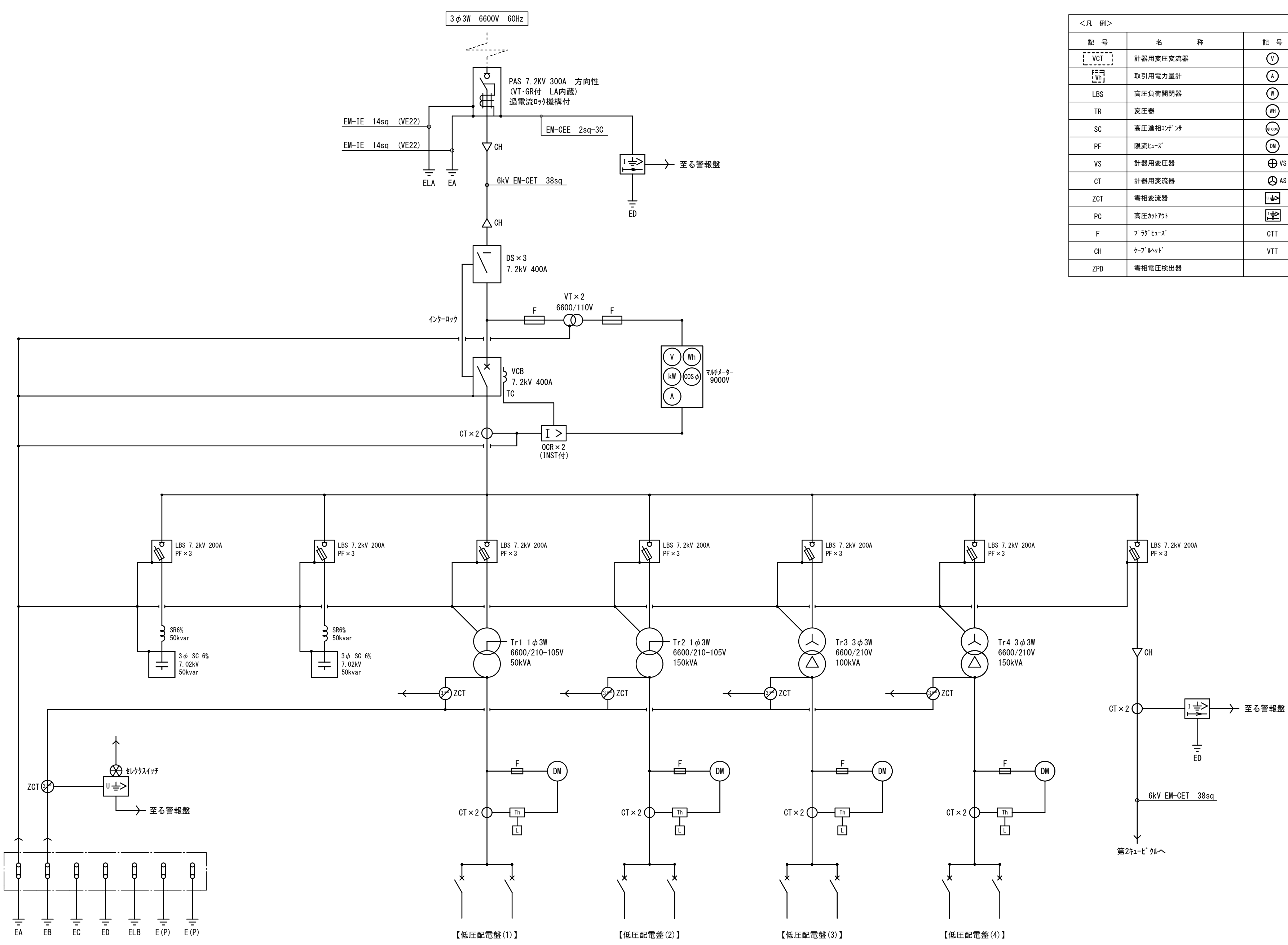
DATE

一級建築士NO 345344

A2 NON

R5・09

柿谷正英



<凡 例>			
記 号	名 称	記 号	名 称
VCT	計器用変圧変流器	V	電圧計
W	取引用電力量計	A	電流計
LBS	高圧負荷開閉器	W	電力計
TR	変圧器	Wh	電力量計
SC	高圧進相コンデンサ	cosφ	力率計
PF	限流ヒューズ	DM	遮断器
VS	計器用変圧器	⊕ VS	電圧切替スイッチ
CT	計器用変流器	⊕ AS	電流切替スイッチ
ZCT	零相変流器	⊕ →	地絡過電圧継電器
PC	高圧カットアウト	⊕ ⇄	地絡方向継電器
F	フューズ	CTT	試験用電流端子
CH	ケーブルヘッド	VTT	試験用電圧端子
ZPD	零相電圧検出器		

変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量 (kVA)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤 (1) 電灯 Tr1 1φ 50kVA	Ⓐ1	電灯分電盤 (L-1)		MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38sq
		予備		MCCB 3P 225AF/150AT	
		予備		MCCB 3P 225AF/150AT	
		予備		MCCB 3P 225AF/150AT	
		HGR・LGR		MCCB 2P 50AF/20AT	
		盤内		MCCB 2P 50AF/20AT	

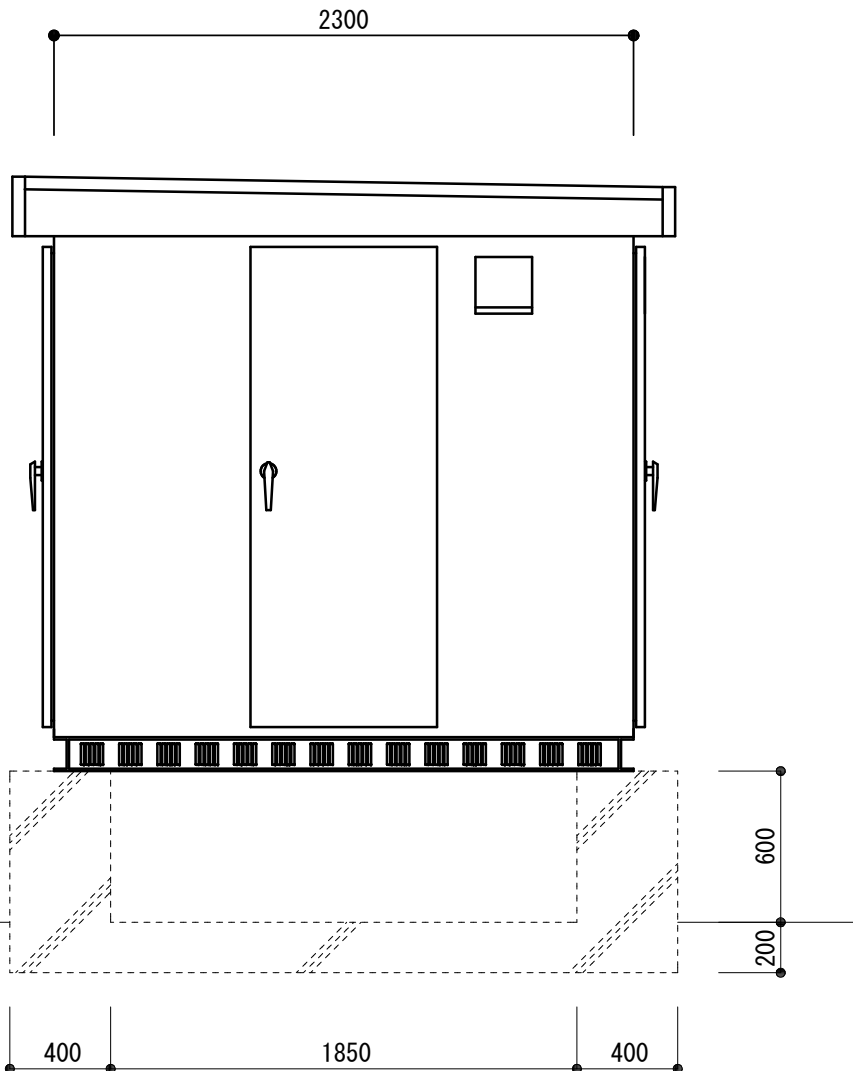
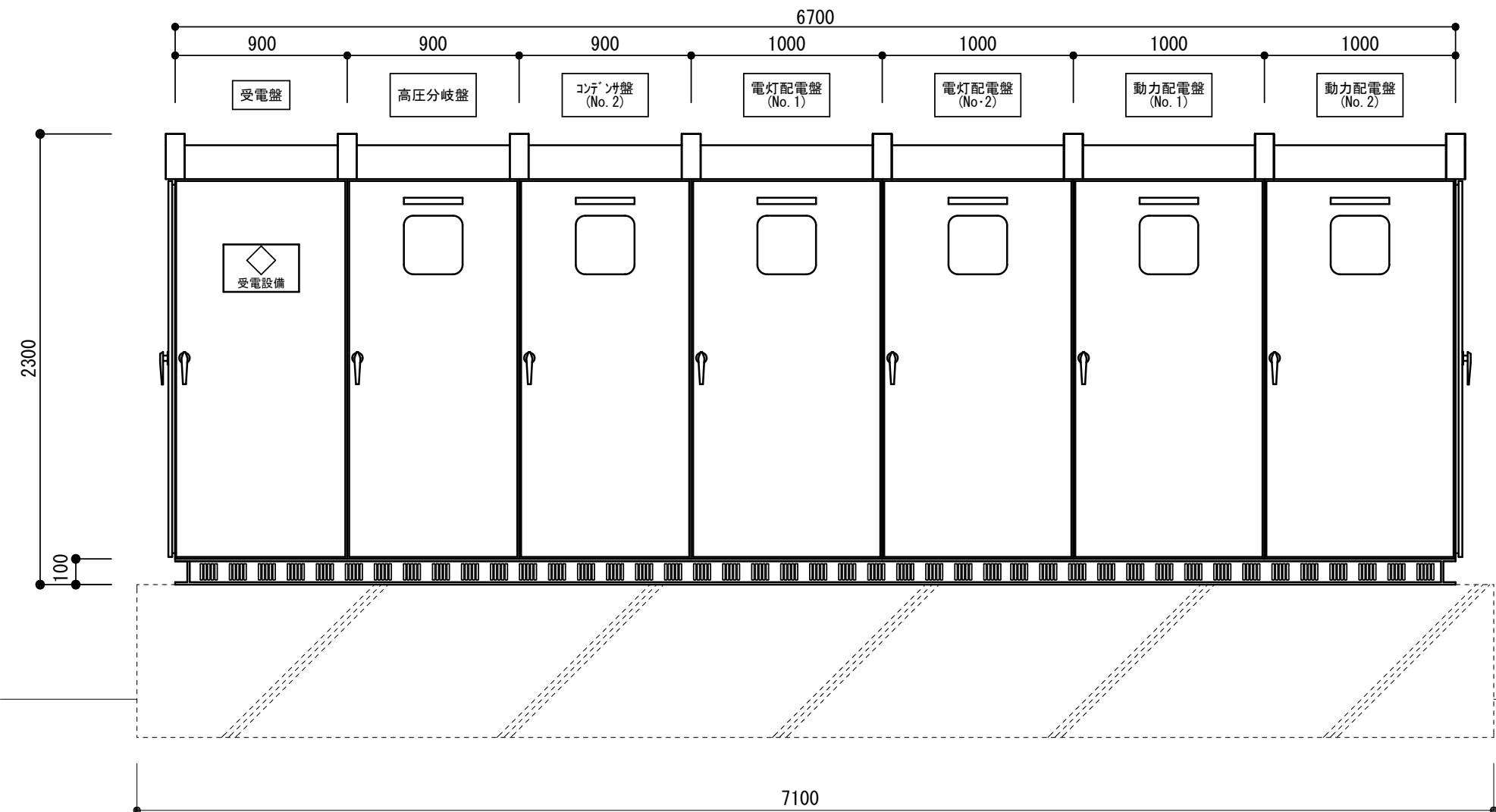
変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量 (kVA)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤 (2) 電灯 Tr2 1φ 150kVA	Ⓐ1	電灯・動力分電盤 (LM-1)		MCCB 3P 300AF/250AT	EM-CET 100sq
	Ⓐ2	電灯・動力分電盤 (LM-2)		MCCB 3P 225AF/225AT	EM-CET 100sq
	Ⓐ3	浄水場		MCCB 3P 50AF/50AT	EM-CET 22sq
	Ⓐ4	外灯盤		MCCB 3P 100AF/75AT	EM-CET 22sq
	Ⓐ5			MCCB 2P 50AF/20AT	EM-CE 5.5sq-2C
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	

変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量 (kVA)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤 (3) 動力 Tr3 3φ 100kVA	Ⓐ1	動力分電盤 (M1-1)		MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38sq
	Ⓐ2	動力分電盤 (M1-2)		MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38sq
	Ⓐ3	動力分電盤 (M1-3)		MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38sq
	Ⓐ4	動力分電盤 (M1-4)		MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38sq
	Ⓐ6	浄化槽盤		MCCB 3P 225AF/200AT	EM-CET 100sq
	Ⓐ7	動力分電盤 (M-1 サナ)		MCCB 3P 225AF/200AT	EM-CET 100sq
		予備		MCCB 3P 225AF/150AT	
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	

変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量 (kW)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤 (4) 動力 Tr4 3φ 150kVA	Ⓑ1	電灯・動力分電盤 (LM-1)	38.5	MCCB 3P 225AF/225AT	EM-CET 100sq
	Ⓑ2	電灯・動力分電盤 (LM-2)	45.61	MCCB 3P 400AF/300AT	EM-CET 200sq
	Ⓑ3	給湯炉過システム盤	8.35	MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38sq
	Ⓑ4	エレベータ	15.0	MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38sq
	Ⓑ5	浄水場		MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38sq
		予備		MCCB 3P 225AF/150AT	
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	

注 記
1. 予備品を納入する事。
・フック棒・テストプラグ・標準工具セット
・電力ヒューズ (100%)・低圧ヒューズ (100%)
2. 高圧充電部前面には保護アクリルカバーを設け、危険表示をする事。
3. 内部機器は全てボルトにて本体に固定する事。
4. 変圧器は防振ゴムパッド・温度計及び耐震ストラップを取付設置する事。
5. 変圧器・コンデンサリアクトルは油入式とし、変圧器はトランスラッチ変圧器とする。
6. チャンネルベースは、溶融亜鉛メッキ (HDZ55) 仕上げとする。
7. キュービクルは、底板付とし扉はストラップ付とする。
8. 各盤内前側上部にLED照明 (FL20W相当) を設け、扉の開閉により点滅とする。
9. 換気扇付きとする。
10. キュービクル内の電圧計・電流計は、マルチマンドメーターとする。
11. マルチマンドメーターは、国土交通省「公共建築工事基準仕様書」対応とする。
12. キュービクルの各盤面に警報表示を設ける。
外部警報出力は ①高圧地絡 ②低圧漏電
13. 配線用遮断器の2次側は、接続端子台付とする。
14. MCCBの短絡遮断容量は単相変圧器…25kA、三相変圧器…15kA以上とする。
15. 高圧ケーブルに対してシュリンクパック抑制対策を施すこと。
16. 電力会社、消防、その他諸官庁等への申請手続きは本工事とする。
17. 耐圧試験、リレー試験等は本工事とし、電気主任技術者と調整の上行うこと。
18. 各試験用端子の設置をすること。
19. 「消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式」とする。
20. キュービクル固定用新設アンカーは、SUS製施工とします。
21. 工事前には現地調査及び竣工図面の確認を行い、監督員との調整を行い作業に移ること。
22. 工事着工前には、電力会社及び主任技術者との事前打合せを行うこと。

屋外型キュービクル式 受変電設備姿図



株式会社 たかの建築事務所

観光施設 (黒滝森物語村) 電気設備改修工事 設計図

受変電設備 低圧配電盤リスト・姿図 (新設)

DRAWN BY

CHECKED BY

DRAWING NO

SCALE

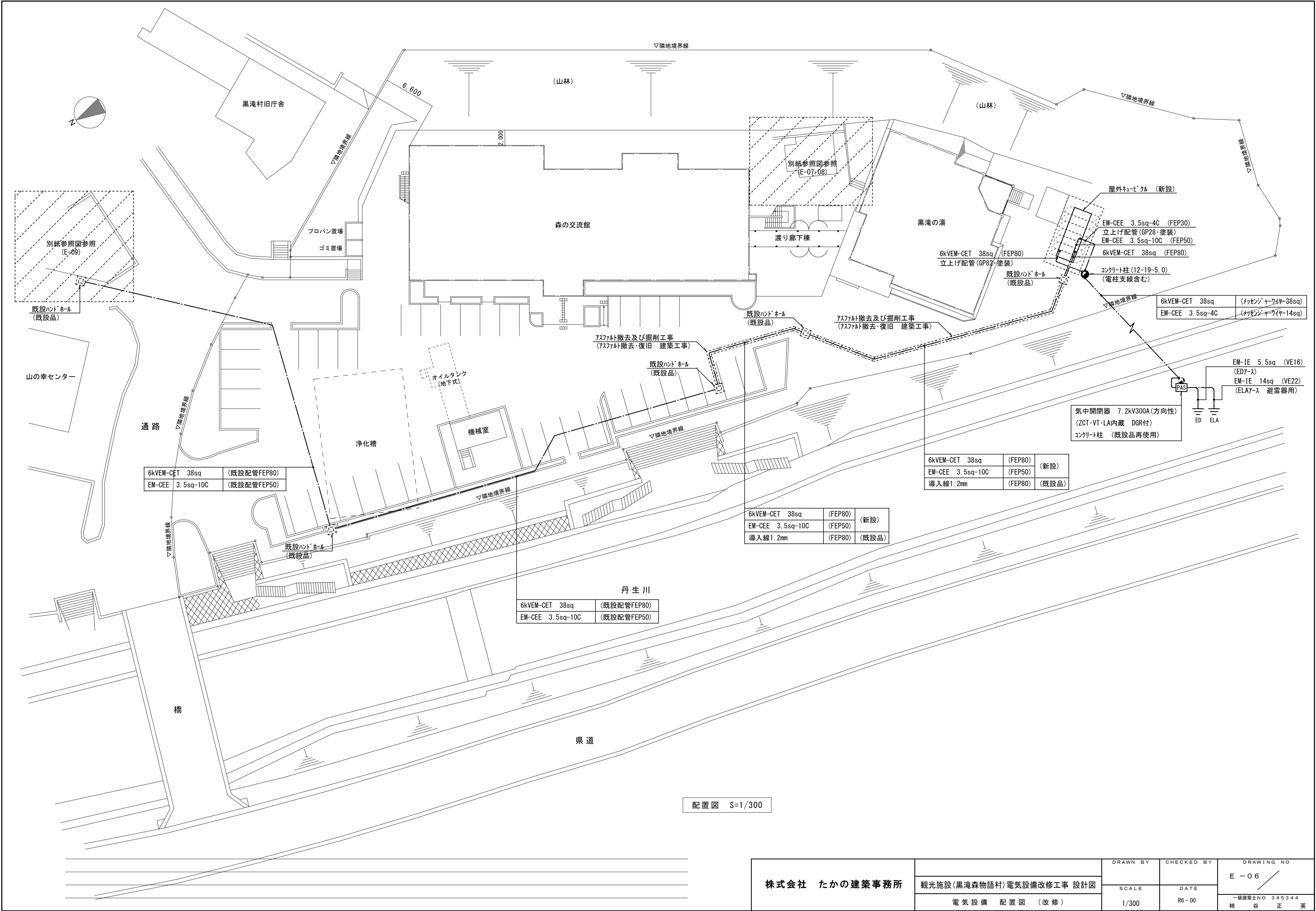
DATE

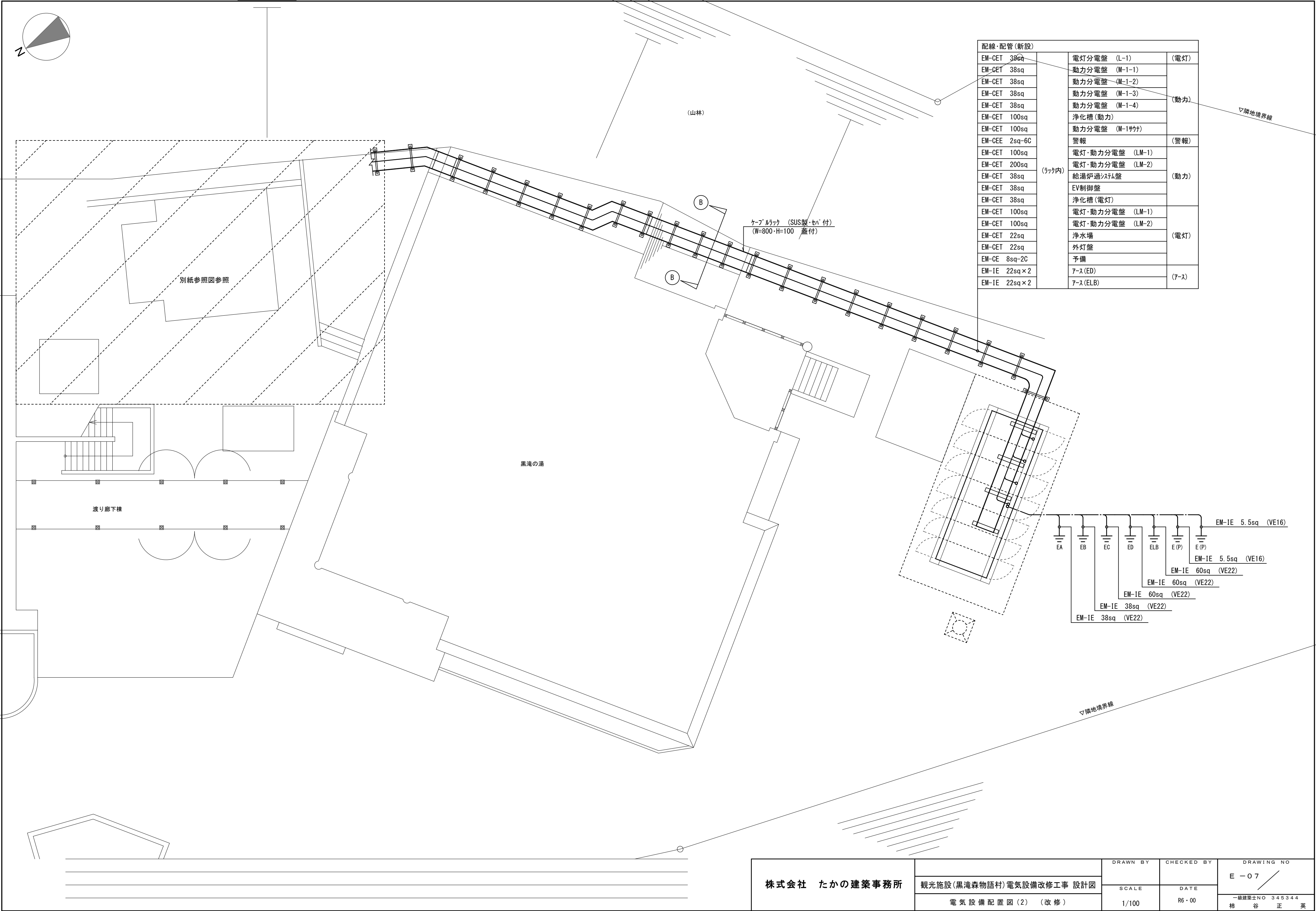
E-05

A2 NON

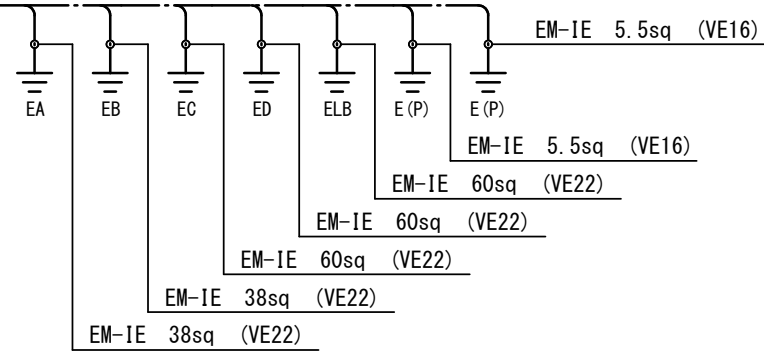
R5・09

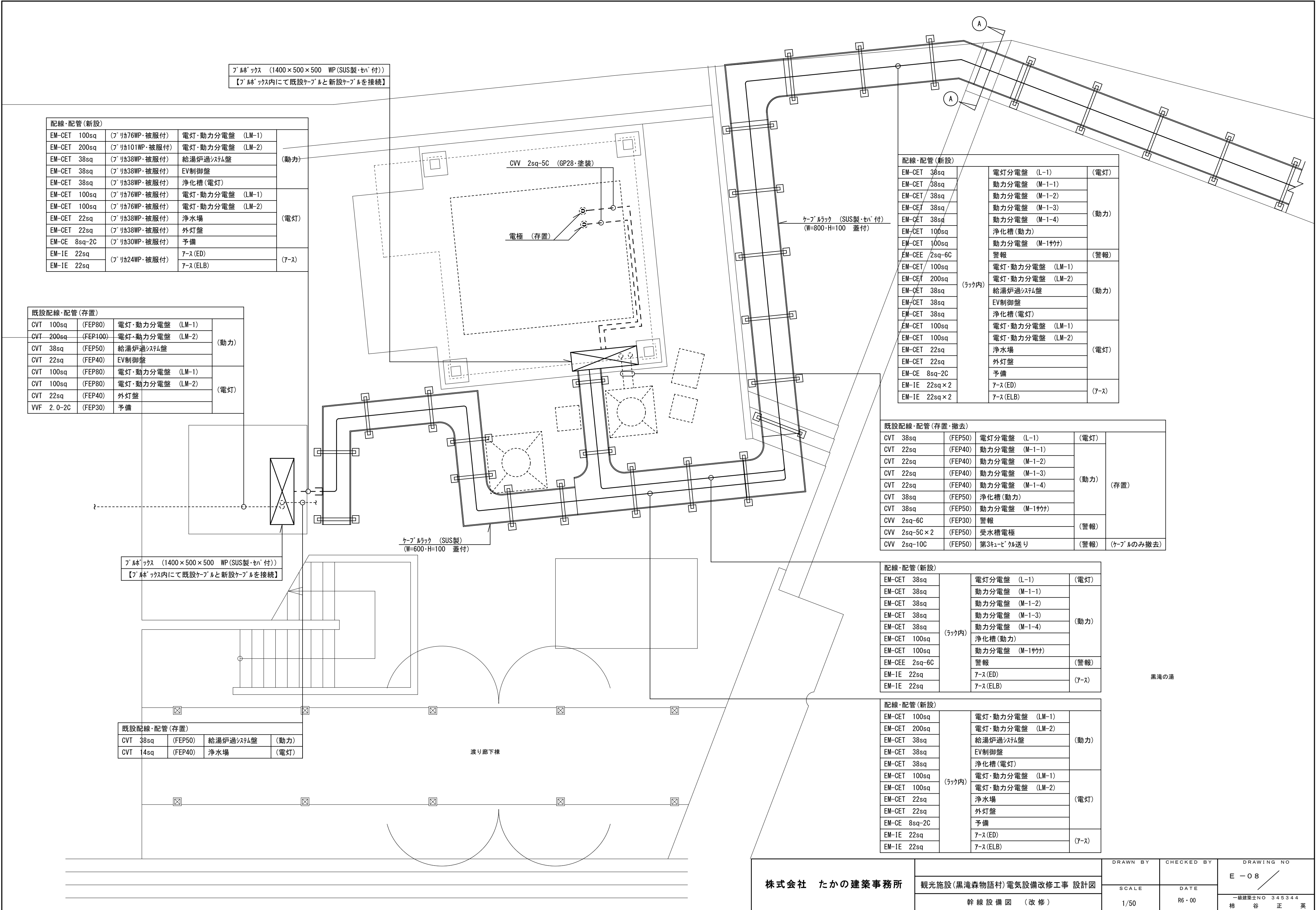
一級建築士 NO 345344
柿谷正英





配線・配管(新設)		
EM-CET 38sq	電灯分電盤 (L-1)	(電灯)
EM-CET 38sq	動力分電盤 (M-1-1)	(動力)
EM-CET 38sq	動力分電盤 (M-1-2)	
EM-CET 38sq	動力分電盤 (M-1-3)	
EM-CET 38sq	動力分電盤 (M-1-4)	
EM-CET 100sq	浄化槽(動力)	
EM-CET 100sq	動力分電盤 (M-1ササ)	(警報)
EM-CEE 2sq-6C	警報	
EM-CET 100sq	電灯・動力分電盤 (LM-1)	(動力)
EM-CET 200sq	電灯・動力分電盤 (LM-2)	
EM-CET 38sq	給湯炉過システム盤	
EM-CET 38sq	EV制御盤	
EM-CET 38sq	浄化槽(電灯)	(電灯)
EM-CET 100sq	電灯・動力分電盤 (LM-1)	
EM-CET 100sq	電灯・動力分電盤 (LM-2)	
EM-CET 22sq	浄水場	
EM-CET 22sq	外灯盤	
EM-CE 8sq-2C	予備	(7-ス)
EM-IE 22sq×2	7-ス (ED)	
EM-IE 22sq×2	7-ス (ELB)	





配線・配管 (新設)			
EM-CET 100sq	(ﾌﾞﾘｶ76WP・被服付)	電灯・動力分電盤 (LM-1)	(動力)
EM-CET 200sq	(ﾌﾞﾘｶ101WP・被服付)	電灯・動力分電盤 (LM-2)	
EM-CET 38sq	(ﾌﾞﾘｶ38WP・被服付)	給湯炉過システム盤	
EM-CET 38sq	(ﾌﾞﾘｶ38WP・被服付)	EV制御盤	
EM-CET 38sq	(ﾌﾞﾘｶ38WP・被服付)	浄化槽 (電灯)	(電灯)
EM-CET 100sq	(ﾌﾞﾘｶ76WP・被服付)	電灯・動力分電盤 (LM-1)	
EM-CET 100sq	(ﾌﾞﾘｶ76WP・被服付)	電灯・動力分電盤 (LM-2)	
EM-CET 22sq	(ﾌﾞﾘｶ38WP・被服付)	浄水場	
EM-CET 22sq	(ﾌﾞﾘｶ38WP・被服付)	外灯盤	(ﾌｰｽ)
EM-CE 8sq-2C	(ﾌﾞﾘｶ30WP・被服付)	予備	
EM-IE 22sq	(ﾌﾞﾘｶ24WP・被服付)	ﾌｰｽ (ED)	
EM-IE 22sq		ﾌｰｽ (ELB)	

既設配線・配管 (存置)			
CVT 100sq	(FEP80)	電灯・動力分電盤 (LM-1)	(動力)
CVT 200sq	(FEP100)	電灯・動力分電盤 (LM-2)	
CVT 38sq	(FEP50)	給湯炉過システム盤	
CVT 22sq	(FEP40)	EV制御盤	
CVT 100sq	(FEP80)	電灯・動力分電盤 (LM-1)	(電灯)
CVT 100sq	(FEP80)	電灯・動力分電盤 (LM-2)	
CVT 22sq	(FEP40)	外灯盤	
VVF 2.0-2C	(FEP30)	予備	

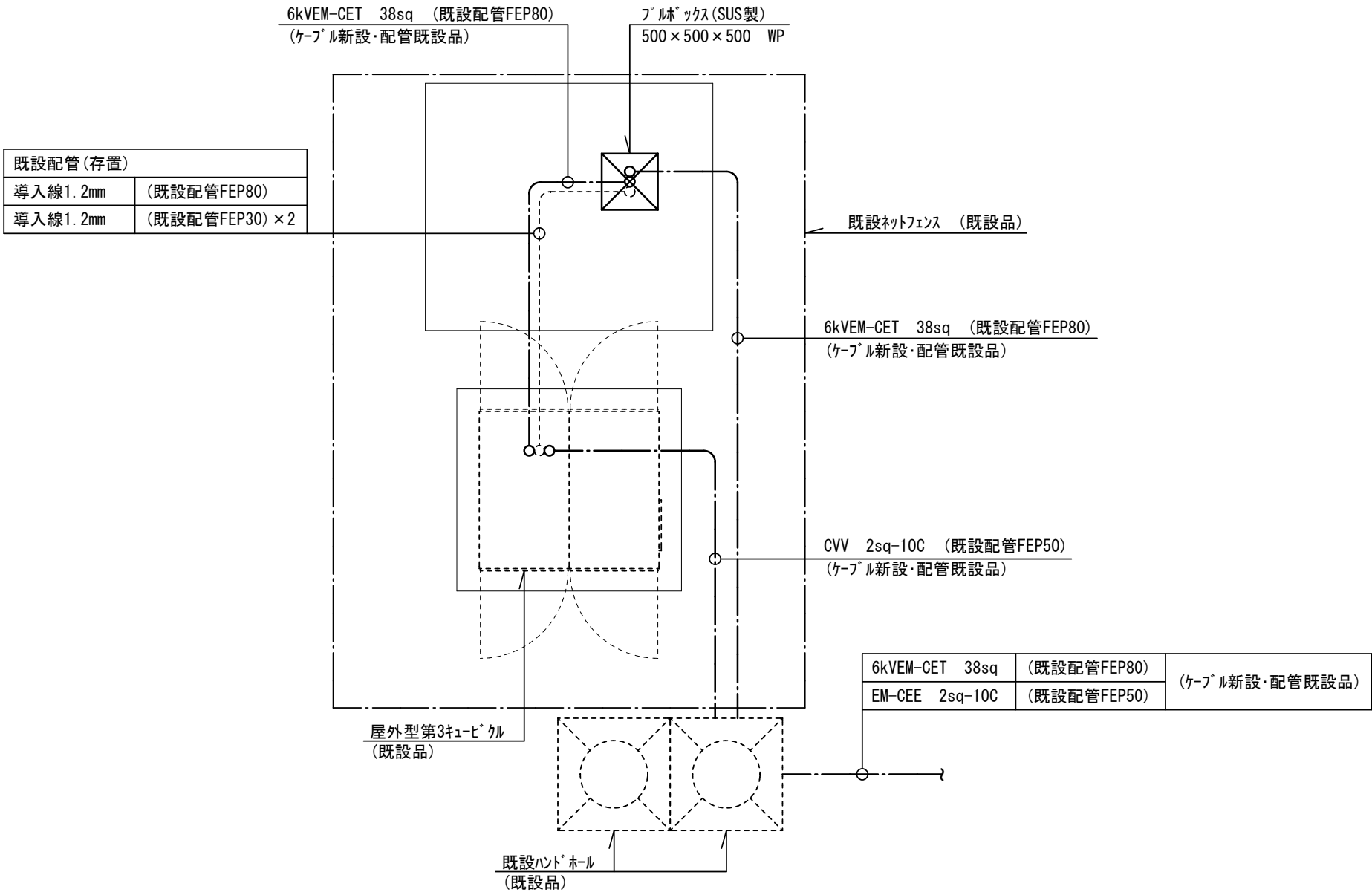
配線・配管 (新設)			
EM-CET 38sq	(ラック内)	電灯分電盤 (L-1)	(電灯)
EM-CET 38sq		動力分電盤 (M-1-1)	(動力)
EM-CET 38sq		動力分電盤 (M-1-2)	
EM-CET 38sq		動力分電盤 (M-1-3)	
EM-CET 38sq		動力分電盤 (M-1-4)	
EM-CET 100sq		浄化槽 (動力)	(動力)
EM-CET 100sq		動力分電盤 (M-1ﾁｬﾝ)	
EM-CEE 2sq-6C		警報	(警報)
EM-CET 100sq		電灯・動力分電盤 (LM-1)	(電灯)
EM-CET 200sq		電灯・動力分電盤 (LM-2)	
EM-CET 38sq		給湯炉過システム盤	
EM-CET 38sq		EV制御盤	
EM-CET 38sq		浄化槽 (電灯)	(電灯)
EM-CET 100sq		電灯・動力分電盤 (LM-1)	
EM-CET 100sq		電灯・動力分電盤 (LM-2)	
EM-CET 22sq		浄水場	
EM-CET 22sq		外灯盤	
EM-CE 8sq-2C		予備	(ﾌｰｽ)
EM-IE 22sq×2		ﾌｰｽ (ED)	
EM-IE 22sq×2		ﾌｰｽ (ELB)	

既設配線・配管 (存置・撤去)				
CVT 38sq	(FEP50)	電灯分電盤 (L-1)	(電灯)	(存置)
CVT 22sq	(FEP40)	動力分電盤 (M-1-1)	(動力)	
CVT 22sq	(FEP40)	動力分電盤 (M-1-2)		
CVT 22sq	(FEP40)	動力分電盤 (M-1-3)		
CVT 22sq	(FEP40)	動力分電盤 (M-1-4)		
CVT 38sq	(FEP50)	浄化槽 (動力)	(警報)	
CVT 38sq	(FEP50)	動力分電盤 (M-1ﾁｬﾝ)		
CVV 2sq-6C	(FEP30)	警報		
CVV 2sq-5C×2	(FEP50)	受水槽電極	(警報)	(ケーブルのみ撤去)
CVV 2sq-10C	(FEP50)	第3キュービクル送り		

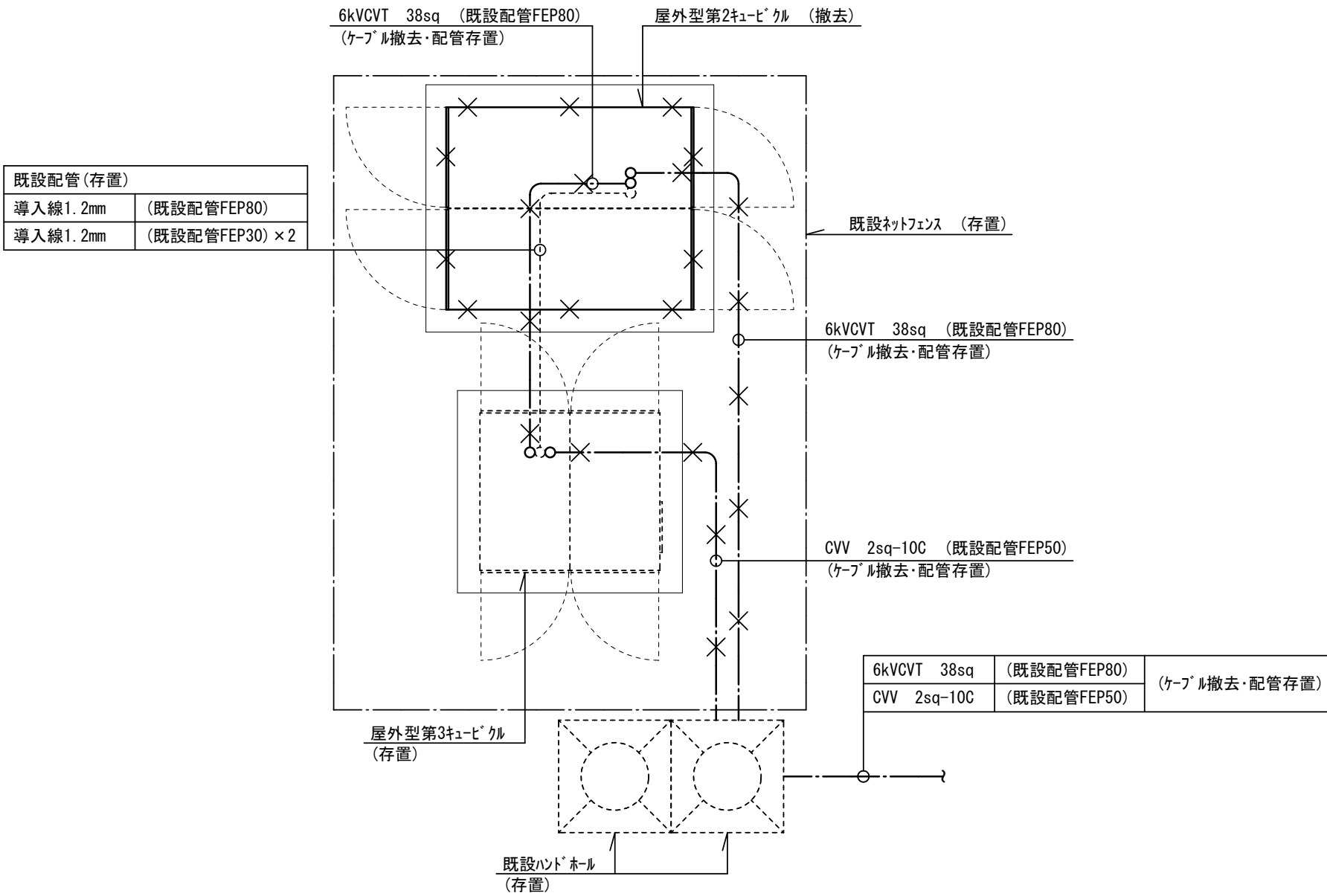
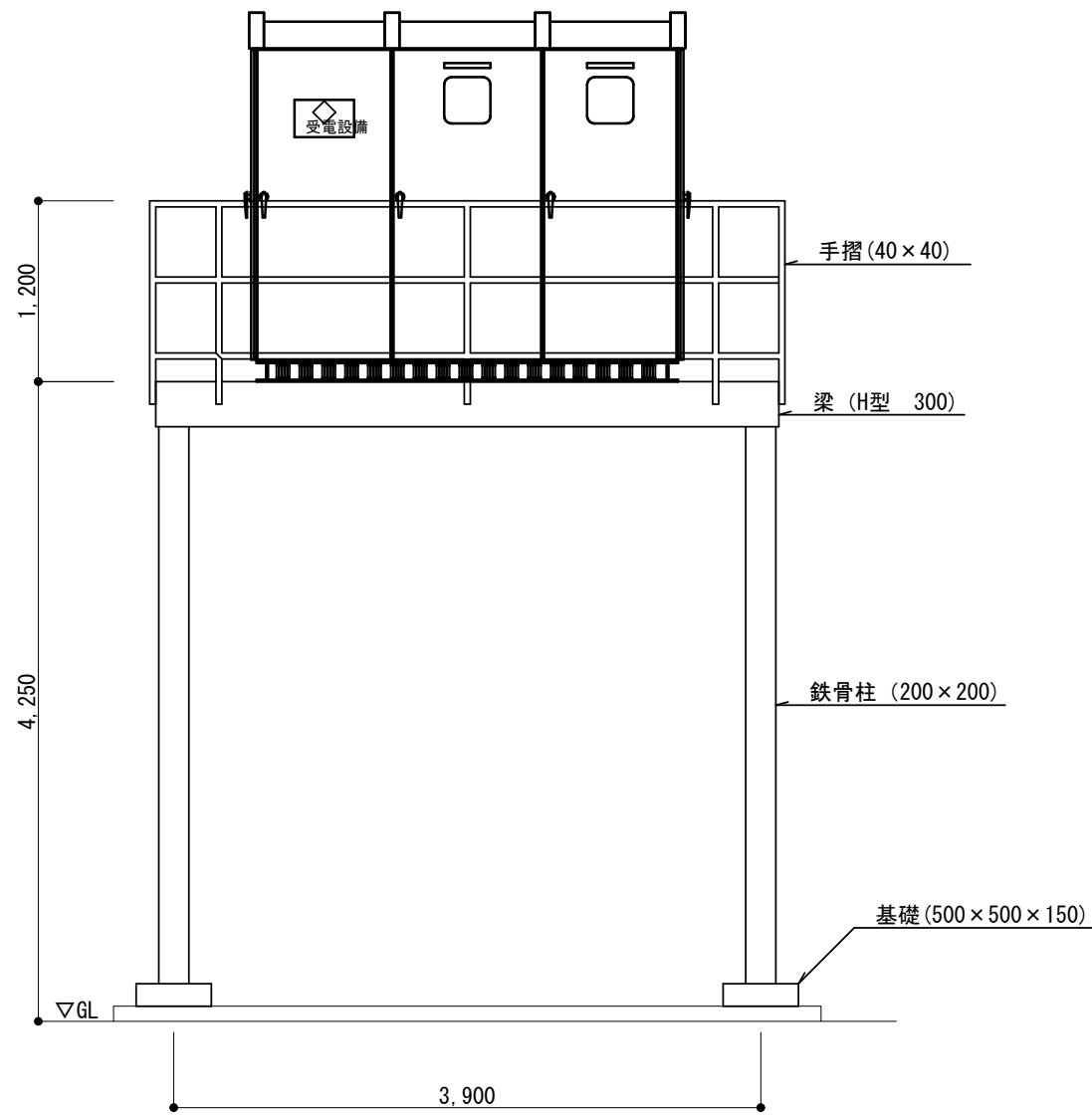
配線・配管 (新設)			
EM-CET 38sq	(ラック内)	電灯分電盤 (L-1)	(電灯)
EM-CET 38sq		動力分電盤 (M-1-1)	(動力)
EM-CET 38sq		動力分電盤 (M-1-2)	
EM-CET 38sq		動力分電盤 (M-1-3)	
EM-CET 38sq		動力分電盤 (M-1-4)	
EM-CET 100sq		浄化槽 (動力)	(動力)
EM-CET 100sq		動力分電盤 (M-1ﾁｬﾝ)	
EM-CEE 2sq-6C		警報	(警報)
EM-IE 22sq		ﾌｰｽ (ED)	(ﾌｰｽ)
EM-IE 22sq		ﾌｰｽ (ELB)	

配線・配管 (新設)			
EM-CET 100sq	(ラック内)	電灯・動力分電盤 (LM-1)	(動力)
EM-CET 200sq		電灯・動力分電盤 (LM-2)	
EM-CET 38sq		給湯炉過システム盤	
EM-CET 38sq		EV制御盤	
EM-CET 38sq		浄化槽 (電灯)	(電灯)
EM-CET 100sq		電灯・動力分電盤 (LM-1)	
EM-CET 100sq		電灯・動力分電盤 (LM-2)	
EM-CET 22sq		浄水場	
EM-CET 22sq		外灯盤	(ﾌｰｽ)
EM-CE 8sq-2C		予備	
EM-IE 22sq		ﾌｰｽ (ED)	
EM-IE 22sq		ﾌｰｽ (ELB)	

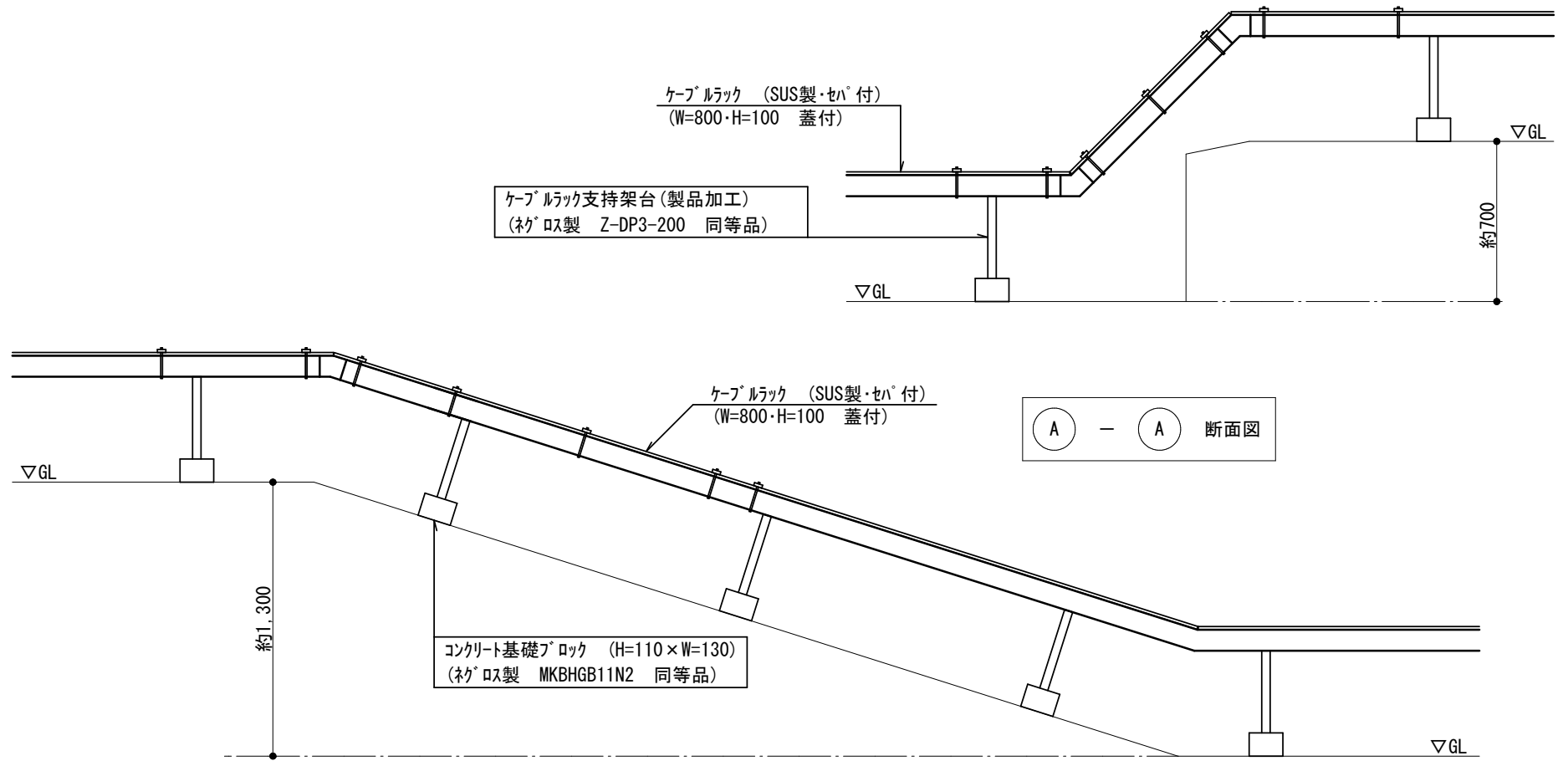
既設配線・配管 (存置)			
CVT 38sq	(FEP50)	給湯炉過システム盤	(動力)
CVT 14sq	(FEP40)	浄水場	(電灯)



既設第2・3ケーブル置場 平面図 (改修) 1/50



既設第2・3ケーブル置場 平面図 (撤去) 1/50



(注)
・斜め勾配に設置のコンクリート基礎ブロックは、
ずれ止め固定用にて土間コンクリートに支持をすること。

断面図 B - B

ケーブルラック 詳細図 (改修)

株式会社 たかの建築事務所

観光施設(黒滝森物語村)電気設備改修工事 設計図

電気設備配置図(4) (改修・撤去)

DRAWN BY

CHECKED BY

DRAWING NO

SCALE

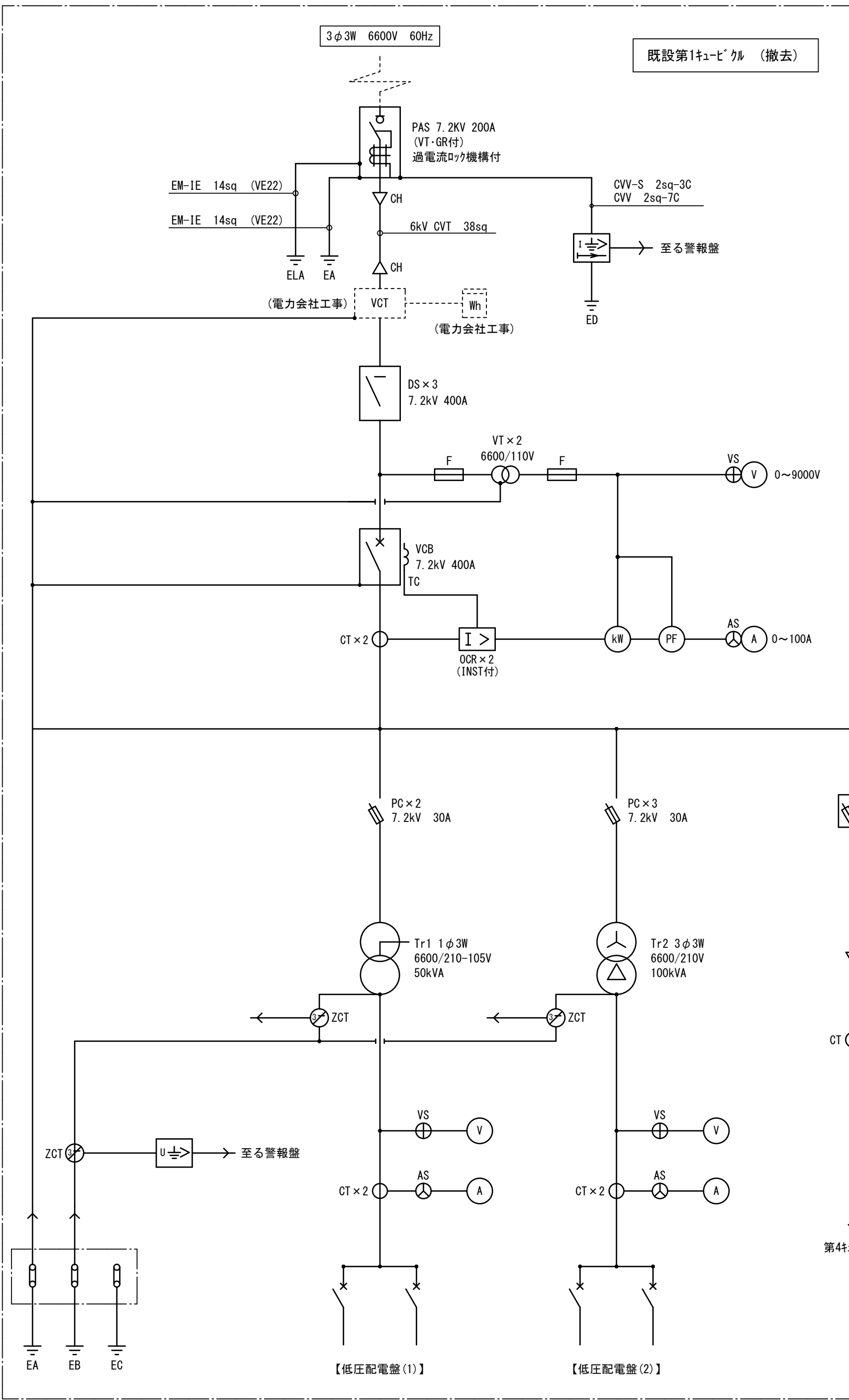
DATE

一級建築士NO 345344

1/50

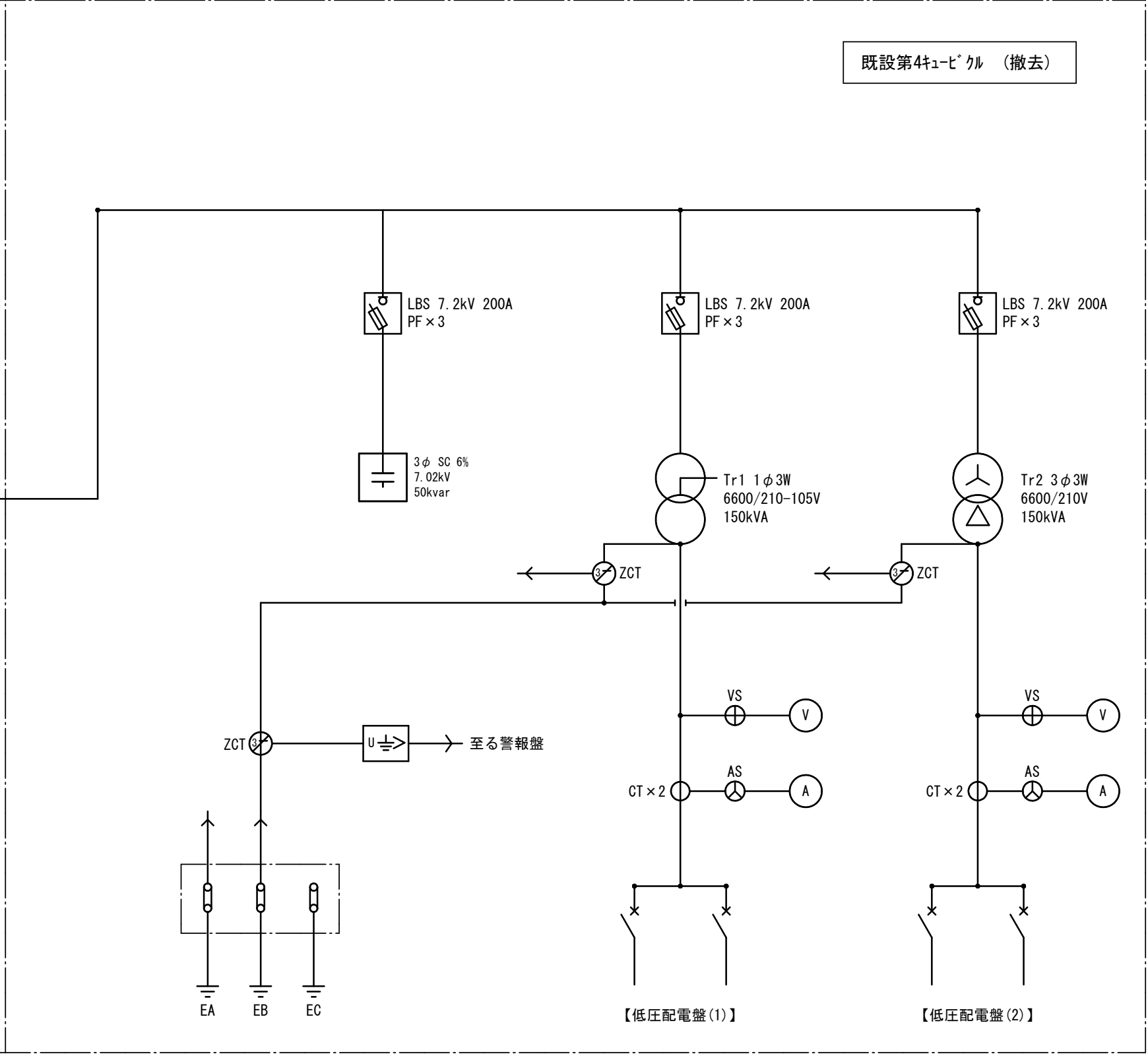
R6.00

柿谷正英



注 記
1. 工事前には現地調査及び竣工図面の確認を行い、監督員との調整を行い作業に移ること。
2. 工事着工前には、電力会社及び主任技術者との事前打合せを行うこと。
3. キュービクル撤去前には、変圧器（電灯・動力）、コンデンサのPCB調査を行うこと。
PCBの含んだ場合は、監督員の指示にて保管場所まで移動を行うこと。

<凡 例>			
記 号	名 称	記 号	名 称
VCT	計器用変圧変流器	V	電圧計
Wh	取引用電力量計	A	電流計
LBS	高圧負荷開閉器	W	電力計
TR	変圧器	WH	電力量計
SC	高圧進相コンデンサ	cosφ	力率計
PF	限流ヒューズ	DM	遮断器
VS	計器用変圧器	⊕ VS	電圧切替スイッチ
CT	計器用変流器	⊗ AS	電流切替スイッチ
ZCT	零相変流器	U →	地絡過電圧継電器
PC	高圧カットアウト	I →	地絡方向継電器
F	フューズヒューズ	CTT	試験用電流端子
CH	ケーブルヘッド	VTT	試験用電圧端子
ZPD	零相電圧検出器		



既設第1キュービクル（撤去）

変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量 (kVA)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤 (1) 電灯 Tr1 1φ 50kVA		外灯分電盤		MCCB 3P 100AF/100AT	
		電灯分電盤 (L-1)		MCCB 3P 100AF/100AT	CVT 38sq
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	
		予備		MCCB 3P 100AF/100AT	
		予備		MCCB 3P 225AF/200AT	
		HGR・LGR		MCCB 2P 50AF/20AT	
		盤内		MCCB 2P 50AF/20AT	
		低圧火災		MCCB 2P 50AF/20AT	
(注)キュービクル内部に外灯分電盤 (ELCB2P50AF/20A×10回路・24時間タイマ-×10個)設置					

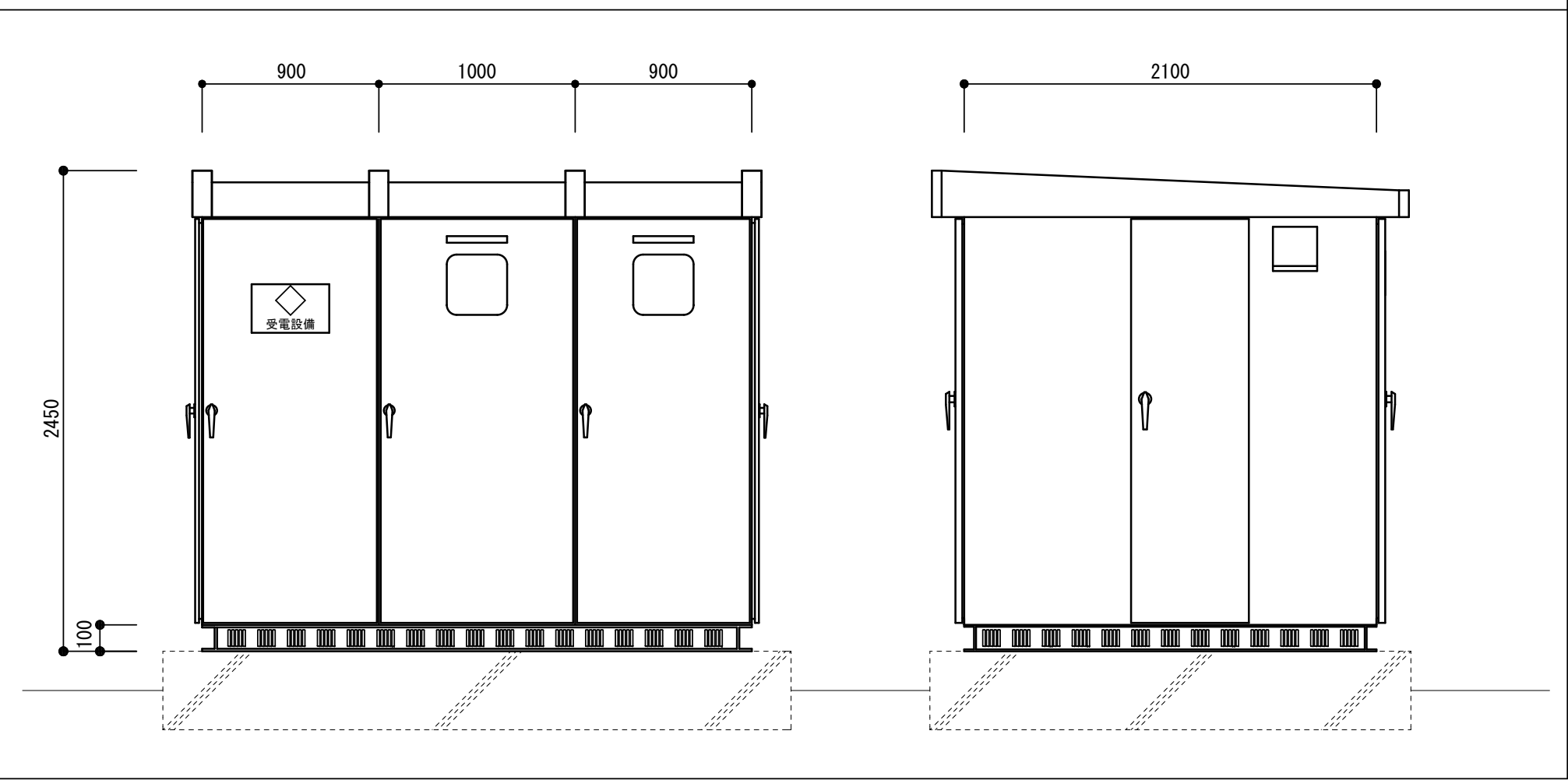
変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量 (kVA)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤 (2) 動力 Tr3 3φ 100kVA		動力分電盤 (M1-1)		MCCB 3P 100AF/100AT	CVT 22sq
		動力分電盤 (M1-2)		MCCB 3P 100AF/100AT	CVT 22sq
		動力分電盤 (M1-3)		MCCB 3P 100AF/100AT	CVT 22sq
		動力分電盤 (M1-4)		MCCB 3P 100AF/100AT	CVT 22sq
		浄化槽盤		MCCB 3P 225AF/200AT	CVT 38sq
		動力分電盤 (M-1 計4)		MCCB 3P 225AF/200AT	CVT 38sq

既設第4キュービクル（撤去）

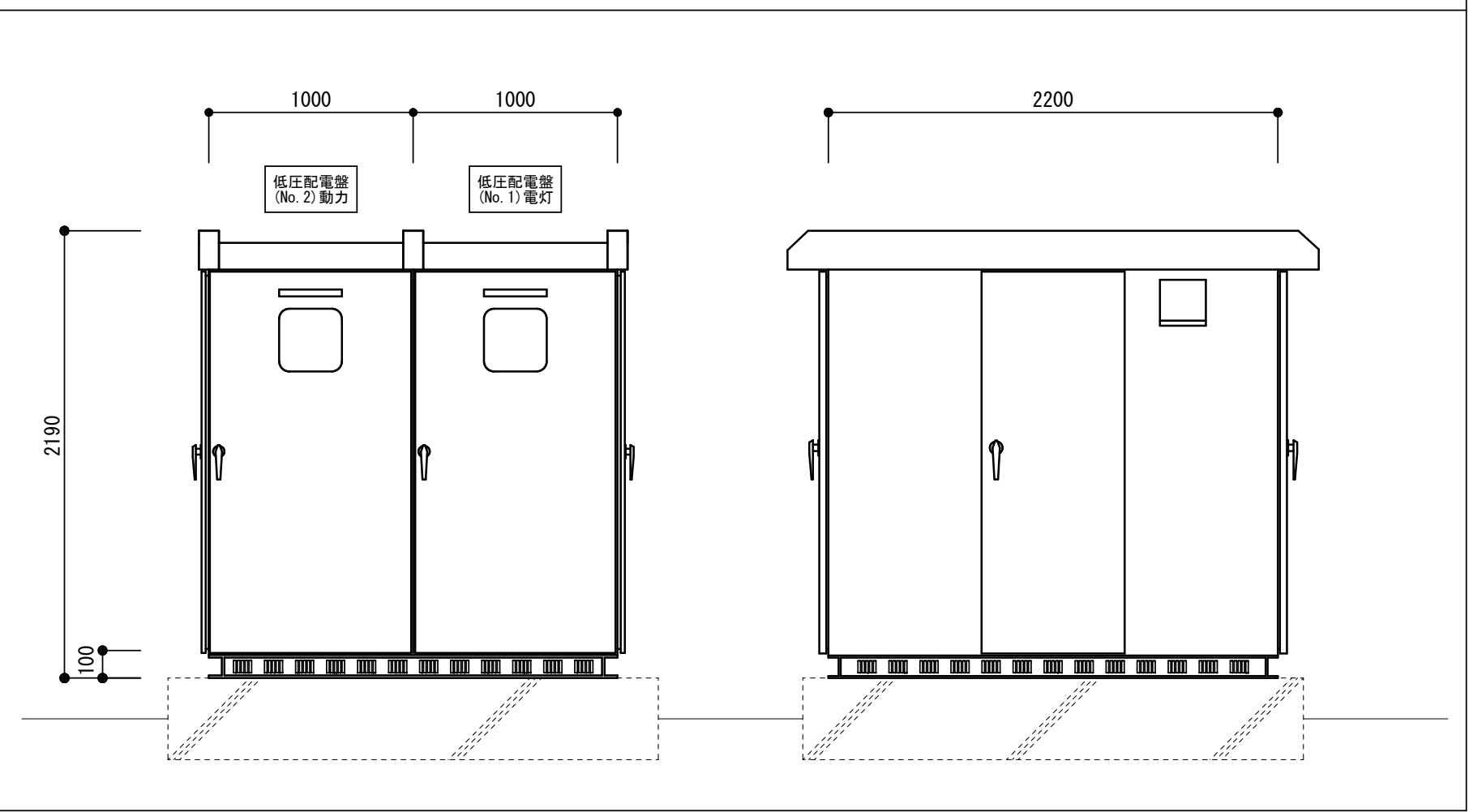
変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量 (kVA)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤 (1) 電灯 Tr1 1φ 150kVA		電灯・動力分電盤 (LM-1)		MCCB 3P 300AF/250AT	CVT 100sq
		電灯・動力分電盤 (LM-2)		MCCB 3P 225AF/225AT	CVT 100sq
		浄水場		MCCB 3P 225AF/225AT	CVT 14sq
		外灯盤		MCCB 3P 150AF/150AT	CVT 22sq
		盤内		MCCB 2P 50AF/20AT	
		HGR・LGR		MCCB 2P 50AF/20AT	
		予備		MCCB 2P 50AF/20AT	VVF 2.0-2C

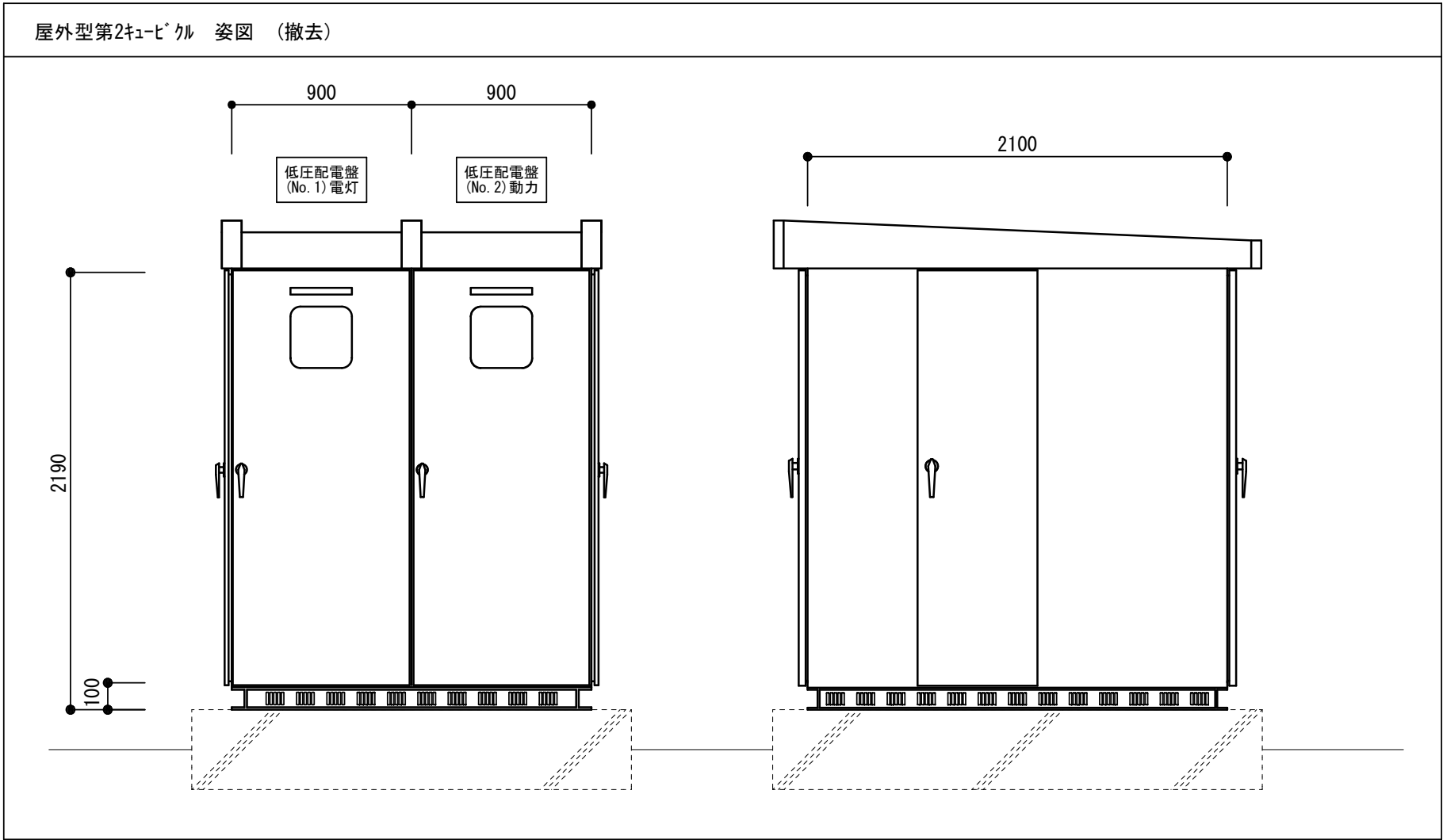
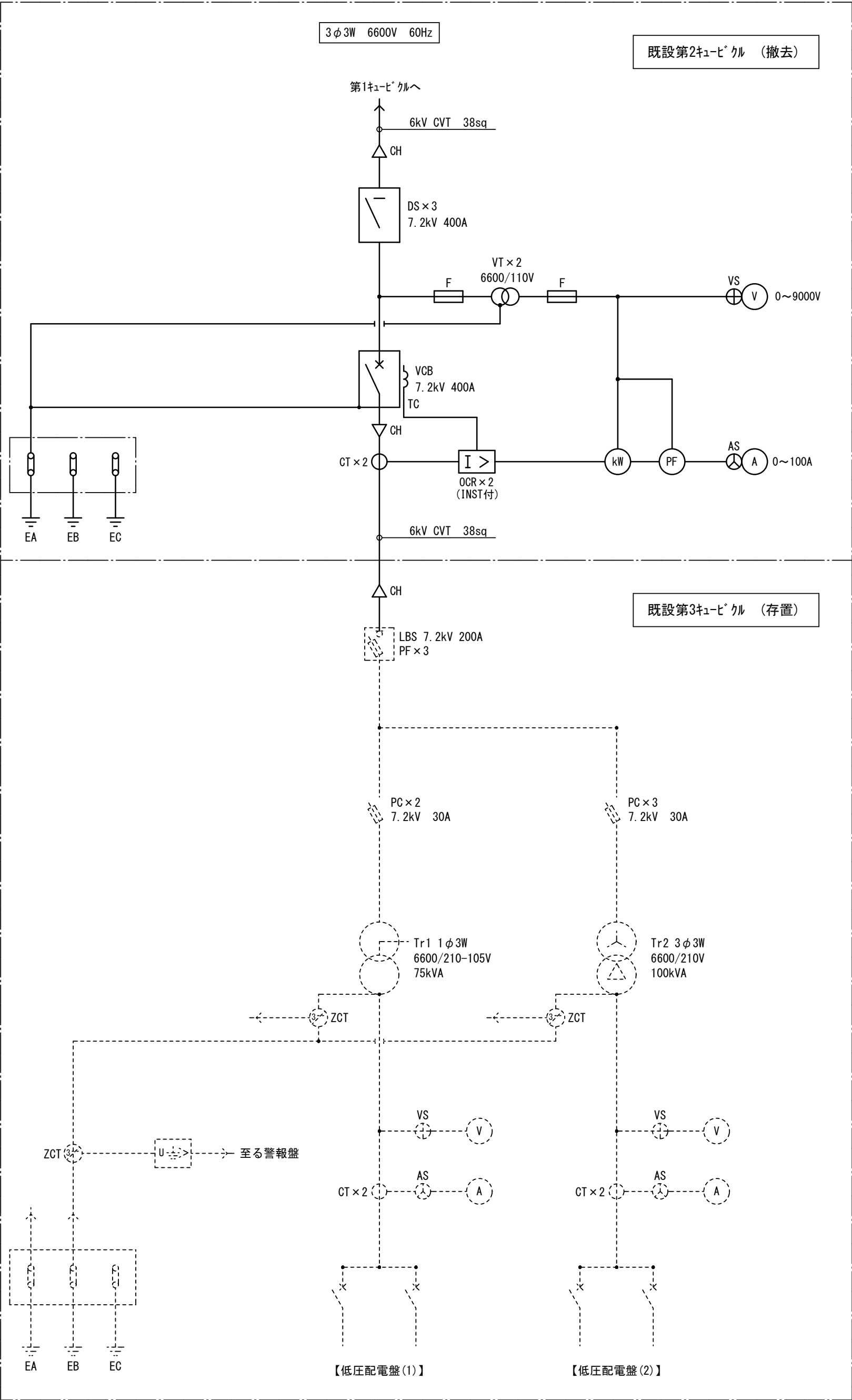
変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量 (kW)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤 (2) 動力 Tr2 3φ 150kVA		電灯・動力分電盤 (LM-1)	38.5	MCCB 3P 225AF/225AT	CVT 100sq
		電灯・動力分電盤 (LM-2)	45.61	MCCB 3P 400AF/300AT	CVT 200sq
		給湯炉過熱器盤	8.35	MCCB 3P 100AF/100AT	CVT 38sq
		エレベ-タ	15.0	MCCB 3P 100AF/100AT	CVT 22sq
		浄水場		MCCB 3P 100AF/100AT	CVT 38sq
		予備		MCCB 3P 225AF/225AT	

屋外型第1キュービクル 姿図（撤去）



屋外型第4キュービクル 姿図（撤去）

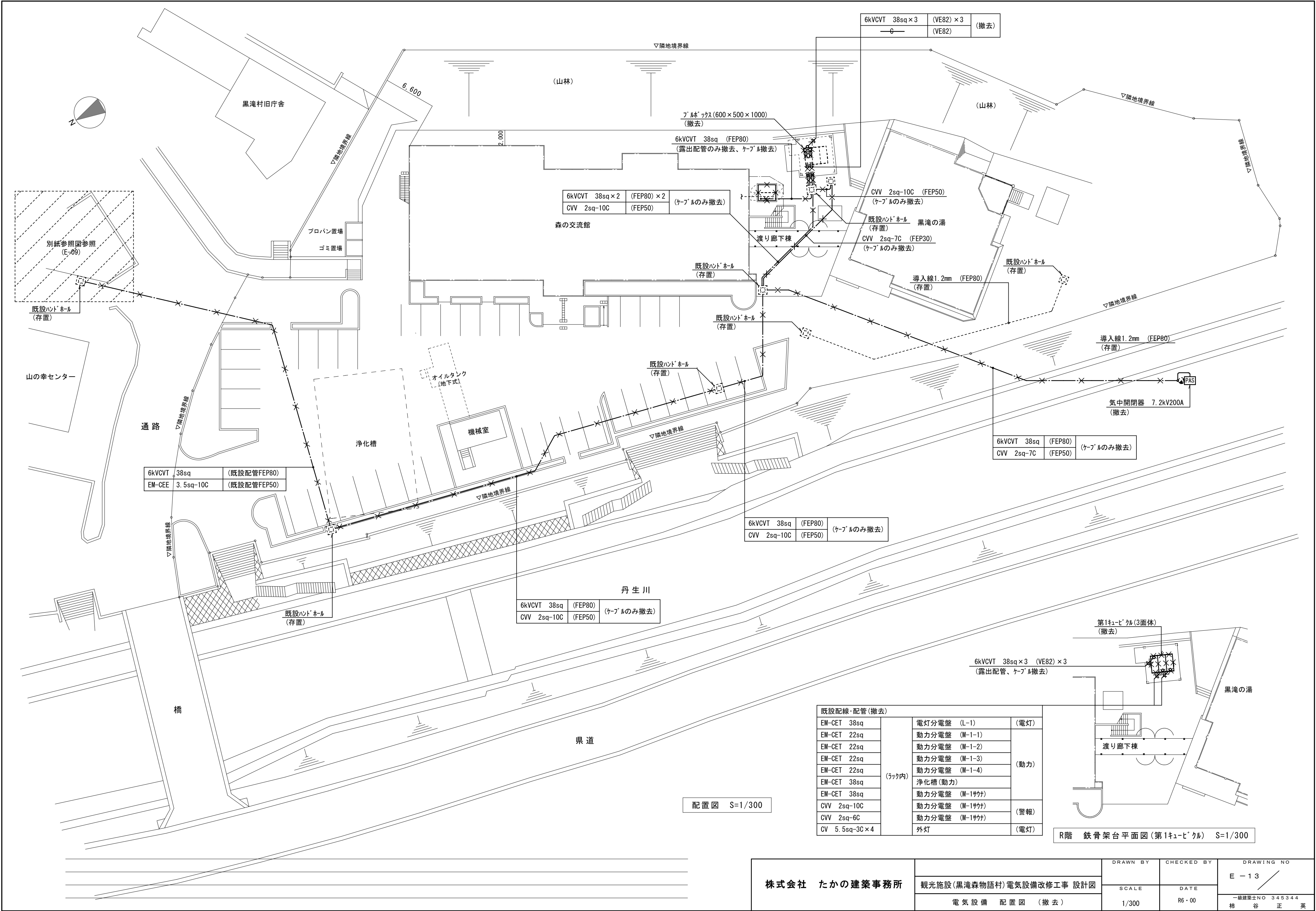




変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量(kVA)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤(1) 電灯 Tr1 1φ 75kVA		山の幸センター		MCCB 3P 225AF/200AT	
		C&G送り		MCCB 3P 225AF/200AT	
		管理棟プール		MCCB 3P 50AF/50AT	
		公衆便所		MCCB 3P 60AF/50AT	
		外灯		MCCB 3P 60AF/50AT	
		ボイラ室		MCCB 3P 60AF/30AT	
		旧役場庁舎		MCCB 3P 225AF/150AT	
		予備		MCCB 3P 225AF/150AT	

変圧器	幹線番号	負 荷 名 称	容量(kVA)	開 閉 器 容 量	備 考
低圧配電盤(2) 動力 Tr2 3φ 100kVA		予備		MCCB 3P 50AF/50AT	
		プール送り		MCCB 3P 100AF/100AT	
		旧役場庁舎		MCCB 3P 225AF/150AT	
		山の幸センター		MCCB 3P 225AF/225AT	
		山の幸センター		MCCB 3P 225AF/225AT	
		C&G送り		MCCB 3P 225AF/200AT	
		C&G送り		MCCB 3P 100AF/100AT	
		冷凍庫		MCCB 3P 60AF/50AT	
		ボイラ室		MCCB 3P 60AF/30AT	

株式会社 たかの建築事務所	観光施設(黒滝森物語村)電気設備改修工事 設計図 第2・3キュービクル 単結線図・姿図 (存置・撤去)	DRAWN BY	CHECKED BY	DRAWING NO
		SCALE	DATE	E-12
		A2 NON	R5・09	一級建築士NO 345344 柿 谷 正 英



6kVCVT	38sq	(既設配管FEP80)
EM-CEE	3.5sq-10C	(既設配管FEP50)

6kVCVT	38sq	(FEP80)
CVV	2sq-10C	(FEP50)

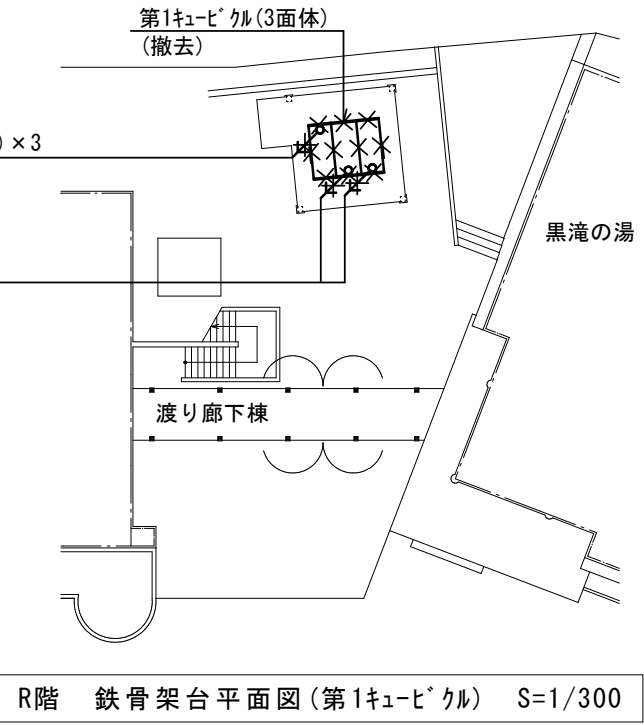
6kVCVT	38sq×2	(FEP80)×2
CVV	2sq-10C	(FEP50)

6kVCVT	38sq	(FEP80)
CVV	2sq-10C	(FEP50)

6kVCVT	38sq×3	(VE82)×3
		(VE82)

6kVCVT	38sq	(FEP80)
CVV	2sq-7C	(FEP50)

既設配線・配管(撤去)		
EM-CET	38sq	(動力)
EM-CET	22sq	
EM-CET	22sq	
EM-CET	22sq	
EM-CET	22sq	
EM-CET	38sq	(動力)
EM-CET	38sq	
CVV	2sq-10C	
CVV	2sq-6C	(警報)
CV	5.5sq-3C×4	
		(電灯)



既設配線・配管 (存置)			
CVT 100sq	(FEP80)	電灯・動力分電盤 (LM-1)	(動力)
CVT 200sq	(FEP100)	電灯・動力分電盤 (LM-2)	
CVT 38sq	(FEP50)	給湯炉過システム盤	
CVT 22sq	(FEP40)	EV制御盤	
CVT 100sq	(FEP80)	電灯・動力分電盤 (LM-1)	(電灯)
CVT 100sq	(FEP80)	電灯・動力分電盤 (LM-2)	
CVT 22sq	(FEP40)	外灯盤	
CV 5.5sq-3C	(FEP30)	予備	

6kVCVT 38sq×3	(VE82)×3	(撤去)
—G—	(VE82)	

6kVCVT 38sq×3	(VE82)×3	(ケーブルのみ撤去)
—G—	(VE82)	

6kVCET 38sq (FEP80)
(露出配管のみ撤去、ケーブル撤去)

既設配線・配管 (存置)			
CVT 38sq	(FEP50)	給湯炉過システム盤	(動力)
CVT 14sq	(FEP40)	浄水場	(電灯)

渡り廊下棟

電極 (存置)

CVV 2sq-5C (コタシ)
(撤去)

ケーブルラック (撤去)
(W=500・H=100 蓋付)

検針マーキング検出器盤
(別途工事撤去)

CVV 2sq-10C (FEP50)
(ケーブルのみ撤去)

CVV 2sq-7C (FEP30)
(ケーブルのみ撤去)

6kVCVT 38sq×2	(FEP80)×2	(ケーブルのみ撤去)
CVV 2sq-10C	(FEP50)	

既設配線・配管 (撤去)			
CVT 38sq	(ラック内)	電灯分電盤 (L-1)	(電灯)
CVT 22sq		動力分電盤 (M-1-1)	(動力)
CVT 22sq		動力分電盤 (M-1-2)	
CVT 22sq		動力分電盤 (M-1-3)	
CVT 22sq		動力分電盤 (M-1-4)	
CVT 38sq		浄化槽 (動力)	(警報)
CVT 38sq		動力分電盤 (M-1サナ)	
CVV 2sq-10C		第3キュービクル送り	
CVV 2sq-6C		動力分電盤 (M-1サナ)	
CVV 2sq-7C		高圧地絡警報	
CVV 2sq-5C×2		受水槽電極	(電灯)
CV 5.5sq-3C×4		外灯	

黒滝の湯

株式会社 たかの建築事務所

観光施設(黒滝森物語村)電気設備改修工事 設計図

幹線設備図 (撤去)

DRAWN BY

CHECKED BY

DRAWING NO

E - 14

SCALE

DATE

R6・00

一級建築士 NO 345344

柿谷正英

1/50